

消防年報

令和3年版

蓮田市消防本部

(令和4年刊行)

は　じ　め　に

この年報は、蓮田市消防本部の現勢と消防諸般の基本的な統計を収録して、今後の参考に資するとともに、消防事情を広く一般市民の皆様にご紹介するため、編集したものです。

資料統計等を通じまして、当消防本部により一層のご理解をいただき、防災体制の更なる確立に特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

蓮　田　市　消　防　本　部

市勢のあらまし

蓮田市は、埼玉県の東部に位置し、面積は27.28km²、地形は南北に長く、南東部をさいたま市、北東部は元荒川を境に久喜市及び白岡市、西部は綾瀬川を境に桶川市、伊奈町及び上尾市と隣接し、綾瀬川とほぼ平行に利根川を水源とする見沼代用水が流れています。

近年では市街地の再開発が進み、都心まで40km圏内のためJR宇都宮線（東北本線）を利用し約40分で到着できることから、ベッドタウンとして住みやすい環境が整備されました。

主要な幹線道路としては、国道122号線と県道さいたま栗橋線が市内を縦横に通っており、付近には蓮田スマートインターが整備され、県外や首都圏への利便性が確保されています。

蓮田市は、昭和9年10月1日に綾瀬村が町制を施行し蓮田町が発足され、昭和29年5月3日蓮田町・黒浜村・平野村の1町2村の合併により、新たな蓮田町として発足しました。

また、昭和31年1月1日には岩槻市大字川島及び馬込の一部が編入され、昭和47年10月1日に市制を施行し、現在の蓮田市に至っています。

蓮田市章

中央に[ハ][ス][田]の文字、そのまわりにはすの花を図案化したものです。



市の花

すいれん (すいれん科)

すいれん

初夏から初秋にかけて水面にひらく花の美しさは言うに言えないものがあり、一瞬の暑さを忘れさせてくれます。昔から洋の東西を問わず伝説や物語にも幾度となく登場し、蓮田の地名の由来にも深いかわりがあります。



市の木

はなみずき (みずき科)

はなみずき

春には紅白のかれんな花をつけ秋にはみごとに紅葉します。樹性は強じんで土質を選ばず、しかも開花期が長く清らかで、その愛らしさは他に類をみず、伸びゆく蓮田市を象徴しています。



目 次

蓮田市消防の沿革	1
消防庁舎	4
[総務・警防関係]	5
人口の推移、年度別消防費予算、一般会計に対する消防費	6
消防組織	7
事務分掌	8
現有消防力の比較・消防職員配置状況	11
階級年齢別消防職員数	12
勤続年階級別消防職員数	13
学校・研修等受講状況	14
資格・免許取得状況	15
消防水利設置状況	16
消防自動車配置状況	17
消防相互応援協定・その他の応援協定	18
気象統計、注意報・警報等発令状況	20
気温・湿度	21
風速・雨量	22
[予防関係]	23
防火対象物状況	24
中高層防火対象物	26
消防同意	28
訓練及び広報活動状況	30
予防関係届出状況	31
消防法・蓮田市火災予防条例に基づく届出状況	32
危険物施設状況	33
移譲事務処理状況	35
火災発生状況	36
月別火災発生状況	37
月別出火原因別火災発生状況	38
地区別出火件数・原因別火災発生状況	39
過去10年間の火災発生件数	40
覚知別・曜日別・時間帯別火災発生状況	41
[救急・救助関係]	42
救急の概要、10年間の救急出動件数・搬送人員状況	43
覚知別、曜日別受信状況	44
救急出動件数及び搬送件数	45
時間別出動件数、医療機関別搬送人員	46

程度別搬送人員、事故種別程度別搬送状況	47
年齢・事故種別、急病にかかる疾病分類搬送人員	48
現場到着所要時間別出動件数、不搬送原因別件数	49
救急支援活動状況、応急手当普及啓発活動、地区別出動件数	50
公共施設のAED設置場所	51
救助活動状況	52
[消防団関係]	54
消防団の主な行事	55
消防団員実員数、分団詰所所在地、在職年数別団員数	56
消防自動車配置状況	57

蓮田市消防の沿革

- 昭和 39 年 1 月 昭和 29 年の町村合併以来、純農村地帯であった当町にも年々都市化の波が押し寄せ人口が急激に増加した。
また、工場・事業所の進出や交通量の増加と共に危険物施設等が増設されたことにより、常備消防の必要がせまられ蓮田町上 2 丁目 1 番 14 号に蓮田町消防団常備部を設置する。
部長に役場消防係、宮澤春雄氏が就任し、他 6 名の団員で業務を開始する。
- 昭和 42 年 7 月 蓮田町消防本部・署を設置。条例定数 20 名
1 1 月 消防団再編成 21 ヶ分団⇒7 ヶ分団 条例定数 384 名⇒157 名
- 昭和 44 年 2 月 救急業務を開始する。
5 月 蓮田町消防本部・署庁舎完成（蓮田町大字閩戸 178）延面積 482.13 m²
- 昭和 47 年 1 0 月 市制施行により蓮田市消防本部・署となる。
- 昭和 54 年 4 月 南分署を開設。分署長以下 13 名にて業務を開始する。
- 昭和 59 年 3 月 消防庁舎（本署）増築する。（108 m²）
- 平成 8 年 4 月 第 1 号の救急救命士が誕生する。
- 平成 12 年 8 月 埼玉県消防操法大会（ポンプ車の部）に第 3 分団が出場し優勝する。
- 平成 13 年 4 月 消防団再編成 7 ヶ分団⇒6 ヶ分団
- 平成 16 年 5 月 アイキ工業株式会社より、エアータントが寄贈される。
8 月 蓮田市消防本部・署 新庁舎が完成する。（蓮田市大字閩戸 178-1）
延面積 1,787.28 m²
- 平成 26 年 2 月 耐震性防火水槽 40 m³級Ⅱ型 1 基（西城沼公園）設置する。
3 月 消防救急無線のデジタル化を整備する。
高機能通信指令システムを整備する。
第 37 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
消防職員 2 名退職する。
4 月 消防職員 4 名採用、市役所に 1 名の派遣により実員 86 名（消防吏員 86 名・再任用 1 名）となる。
蓮田市消防団に初の女性消防団員（4 名）が入団する。
救急救命士が 19 名となる。
7 月 株式会社セイコーアドバンスより、消防本部用車両（ワゴン R）1 台が寄贈される。
1 1 月 元蓮田市消防職員、関根幸男氏に第 23 回危険業務従事者叙勲が授与される。
- 平成 27 年 2 月 消防団第 4 分団の消防ポンプ自動車を更新する。
3 月 副団長山口 実氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
第 38 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
消防職員 3 名退職する。

- 平成 28 年
- 4 月 消防職員 4 名採用し、実員 87 名（消防吏員 87 名・再任用 2 名）となる。
消防職員 1 名退職する。
 - 5 月 元蓮田市消防職員、増田宗吉氏に第 24 回危険業務従事者叙勲が授与される。
 - 8 月 救命ボートを更新する。
 - 2 月 本署高規格救急車を更新する。
 - 3 月 消防長岡野和男氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
第 39 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
消防職員 4 名退職する。
 - 4 月 消防職員 7 名採用し、実員 89 名（消防吏員 89 名・再任用 2 名）となる。
- 平成 29 年
- 1 1 月 消防団第 5 分団ポンプ車を更新する。
 - 1 2 月 本署にホースタワーが整備される。
 - 3 月 蓮田消防 50 周年記念フェスティバルを蓮田市総合文化会館ハストピアで開催する。
第 40 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
消防職員 2 名退職する。
 - 4 月 消防職員 5 名採用し、実員 92 名（消防吏員 92 名・再任用 3 名）となる。
第 39 回・第 40 回救急救命士国家試験合格者の採用により、24 人目の救急救命士が誕生する。
埼玉県防災航空隊へ消防職員 1 名を派遣する。
（派遣期間：平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）
16 代目消防長に前田淳一氏が就任する。
 - 9 月 本署指揮車を更新する。
 - 1 1 月 齋藤運輸株式会社より、訓練用高度救命資器材一式他各種資器材が寄贈される。
株式会社セイコーアドバンスより、防災倉庫他各種資器材が寄贈される。
- 平成 30 年
- 2 月 本署高規格救急車（災害対応型）を更新する。
 - 3 月 第 41 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
消防職員 5 名退職する。
 - 4 月 消防職員 3 名採用し、実員 91 名（消防吏員 91 名・再任用 4 名）となる。
17 代目消防長に齋藤交司氏が就任する。
 - 5 月 株式会社セイコーアドバンスより、広報活動用軽乗用車（ワゴン R）1 台、アンプ・スピーカーシステム 1 式寄贈される。
 - 8 月 株式会社セイコーアドバンスより、資機材搬送車 1 台寄贈される。
蓮田市において九都県市合同防災訓練が実施される。

- 平成 31 年
- 2月 本署消防ポンプ自動車を更新する。
 - 3月 団長伊勢谷正和氏に消防庁長官より功労章が授与される。
副団長関根守男氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
第 42 回救急救命士国家試験に 2 名合格する。
消防職員 3 名退職する。
 - 4月 消防職員 4 名採用し、実員 92 名（消防吏員 92 名・再任用 2 名）となる。
第 40 回救急救命士国家試験合格者の採用により、26 人目の救急救命士が誕生する。
- 令和 2 年
- 3月 消防長齋藤交司氏に消防庁長官より永年勤続功労賞が授与される。
第 43 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
消防職員 2 名退職する。
 - 4月 消防職員 2 名採用し、実員 92 名（消防吏員 92 名・再任用 2 名）となる。
第 41 回救急救命士国家試験合格者の採用により、27 人目の救急救命士が誕生する。
18 代目消防長に鈴木達雄氏が就任する。
 - 1 2月 市民の方より、救助マットスーパーソフトランディング S S L が寄贈される。
- 令和 3 年
- 3月 消防長鈴木達雄氏に消防庁長官より永年勤続功労賞が授与される。
消防職員 4 名退職する。
消防団長伊勢谷正和氏が退団する。
 - 4月 消防職員 4 名採用し、実員 92 名（消防吏員 92 名）となる。
1 9 代目消防長に新井智氏が就任する。
消防団長に関根守男氏が就任する。
 - 1 1月 元蓮田市消防職員、岡野和男氏に第 37 回危険業務従事者叙勲が授与される。
- 令和 4 年
- 3月 消防職員 2 名退職する。
 - 4月 消防職員 2 名採用し、実員 92 名（消防吏員 92 名）となる。
第 43 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
埼玉県防災航空隊へ消防職員 1 名を派遣する。
(派遣期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

消防庁舎

名 称	蓮田市消防本部・消防署
所 在 地	〒349 - 0133 埼玉県蓮田市大字閨戸 178 - 1 TEL : 048 - 768 - 0119
建設年月日	平成16年7月7日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	1291.69㎡
延面積	1787.28㎡
敷地面積	5042.18㎡



名 称	蓮田市消防署南分署
所 在 地	〒349 - 0114 埼玉県蓮田市馬込1丁目256 TEL : 048 - 769 - 4396
建設年月日	昭和54年3月31日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	214.24㎡
延面積	439.72㎡
敷地面積	1029.74㎡



総務・警防関係

人口の推移

各年度 4月1日現在

年度 \ 区分	人口	男	女	世帯数
平成30年度	62,137	31,033	31,104	26,739
平成31年度 (令和元年度)	61,817	30,854	30,963	26,965
令和2年度	61,616	30,680	30,936	27,220
令和3年度	61,761	30,698	31,063	27,735
令和4年度	61,474	30,499	30,975	27,907

年度別消防費予算（当初）に対する負担比較

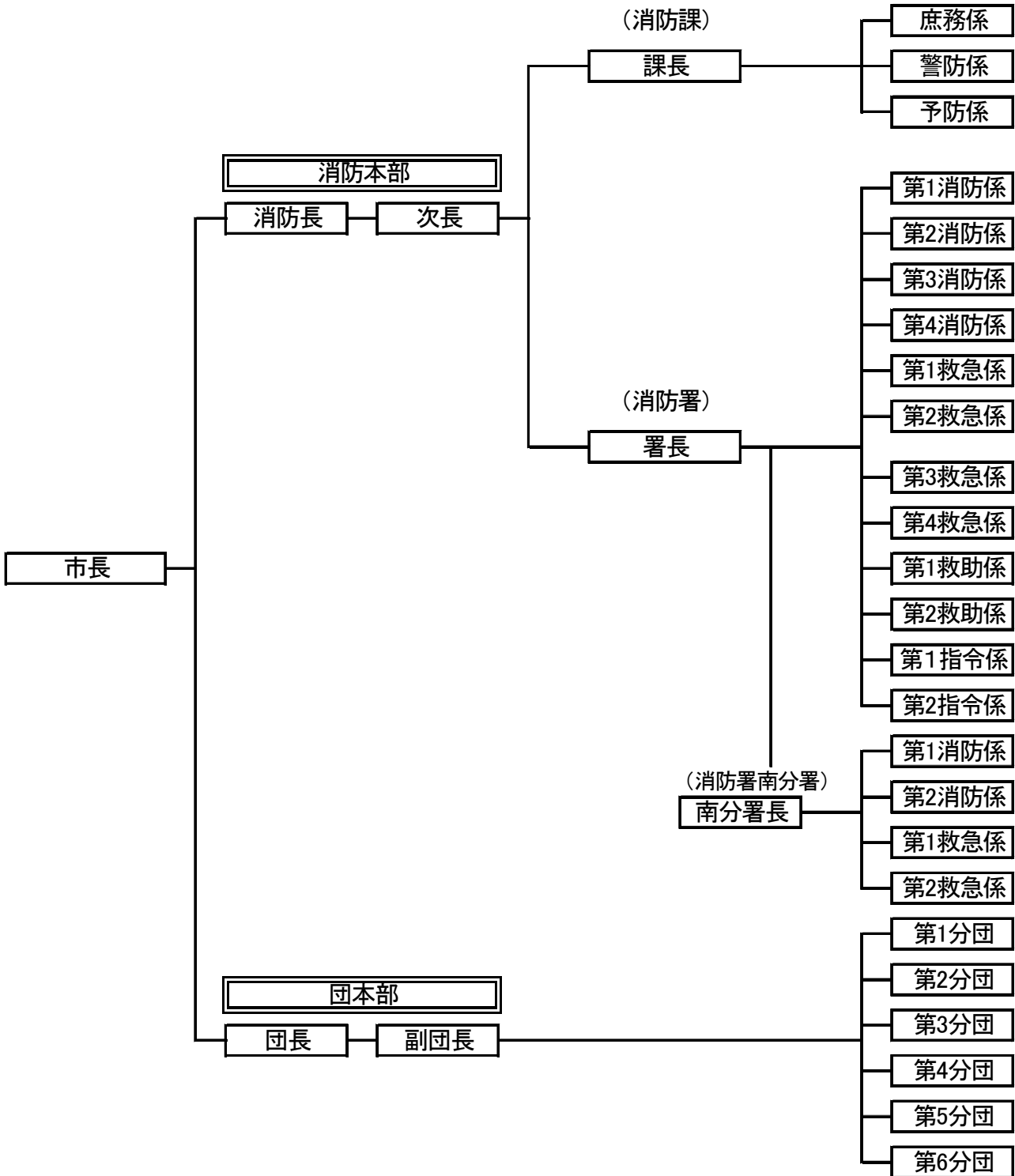
年度 \ 区分	消防費予算（当初）（千円）	人口一人当り（円）	一世帯当り（円）
平成30年度	879,826	14,159	32,904
平成31年度 (令和元年度)	876,803	14,184	32,516
令和2年度	896,030	14,542	32,918
令和3年度	807,406	13,073	29,111
令和4年度	914,892	14,883	32,784

年度別一般会計予算に対する消防費

年 度	市 予 算（単位：千円）	消防費（千円）	比 率（％）
平成30年度	17,688,000	879,826	5.0
平成31年度 (令和元年度)	18,953,000	876,803	4.6
令和2年度	18,285,000	896,030	4.9
令和3年度	18,253,000	807,406	4.4
令和4年度	20,240,000	914,892	4.5

消防組織

令和4年4月1日現在



事務分掌

消防課とは

消防の任務を遂行するために消防事務を統括する機関であり、主として人事、予算、庶務等の消防組織を維持するために必要な事務や、消防運営の企画、統計等の事務を処理する機関で、現在は庶務係・警防係・予防係の3係で組織され、それぞれの事務分掌に基づき業務を遂行しています。

消防署とは

市民の生命・身体・財産を守るため、火災予防、警戒、鎮圧、その他災害の防除及び災害による被害軽減の活動を第一線に立って実施している機関で、現在市内には本署・南分署の2署所が組織され24時間体制で市民の安心・安全を守っています。

消防団とは

消防団は、郷土愛護の精神のもと地域に密着した防災活動機関として、火災及び水災等に対する消防活動などを任務とする公的機関で、震災などの大災害に備え地域の防災リーダーとして応急救護、初期消火等の指導も行い、大規模災害時には任務に基づき、被害防止に努めるために積極的な活動を実施する機関であり、現在1本部6ヶ分団で組織されています。

消防課事務分掌

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 職員の人事及び給与に関する事。
- (3) 例規に関する事。
- (4) 予算及び決算の総合調整に関する事。
- (5) 職員の被服の貸与に関する事。
- (6) 安全衛生管理に関する事。
- (7) 消防施設の整備計画及び保守に関する事。
- (8) 公有財産の取得、管理及び処分に関する事。
- (9) 情報公開及び個人情報保護の調整に関する事。
- (10) 消防団に関する事。
- (11) 消防表彰及び儀式に関する事。
- (12) 公務災害補償に関する事。
- (13) 職員の福利厚生に関する事。
- (14) 課内の庶務に関する事。

警防係

- (1) 警防計画及び演習訓練に関すること。
- (2) 消防車両及び資機材の整備及び管理に関すること。
- (3) 消防水利の計画及び検査に関すること。
- (4) 消防相互応援協定に関すること。
- (5) 開発行為に伴う指導又は協議に関すること。
- (6) 安全運転管理に関すること。
- (7) 救急及び救助の総括に関すること。
- (8) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (9) 医療機関との連絡調整に関すること。

予防係

- (1) 火災予防の広報及び啓発に関すること。
- (2) 予防査察及び指導に関すること。
- (3) 建築確認等の同意事務に関すること。
- (4) 防火管理者の育成及び指導に関すること。
- (5) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (6) 火災予防関係法令の実施に関すること。
- (7) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (8) 予防統計及び情報管理に関すること。
- (9) 住宅防火対策に関すること。
- (10) 火災のり災証明の交付に関すること。
- (11) 防火クラブの育成及び指導に関すること。
- (12) 消防訓練の指導に関すること。
- (13) 危険物製造所等の規制及び許認可事務に関すること。
- (14) 危険物製造所等の保安の確保及び指導に関すること。
- (15) 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関すること。
- (16) 火薬類の規制事務に関すること。
- (17) 液化石油ガス等の保安の確保及び指導に関すること。
- (18) 危険物製造所等、火薬類及び液化石油ガス等の災害調査に関すること。
- (19) 危険物施設等の統計に関すること。
- (20) 防火安全協会に関すること。

消防署事務分掌

消防係

- (1) 火災等の警戒及び防御に関すること。
- (2) 消防水利の管理保全に関すること。
- (3) 消防機械器具の管理保全に関すること。
- (4) 警防調査に関すること。
- (5) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (6) 火災予防条例に関すること。
- (7) 消防訓練に関すること。
- (8) 管轄内の消防対象物の査察に関すること。
- (9) 署内の庶務に関すること。
- (10) 他の主管に属さない事務に関すること。

救急係

- (1) 救急業務に関すること。
- (2) 救急講習の指導及び訓練に関すること。
- (3) 救急車及び救急資機材の管理保全に関すること。
- (4) 救急統計及び報告に関すること。
- (5) 救急救命処置技術の研究に関すること。
- (6) その他救急に関すること。

救助係

- (1) 救助業務に関すること。
- (2) 特殊災害の警防活動に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) 救助工作車及び救助資機材の管理保全に関すること。
- (5) 救助調査に関すること。
- (6) 救助統計及び報告に関すること。
- (7) 管轄内の消防対象物の査察に関すること。
- (8) その他救助に関すること。

指令係

- (1) 各種災害の出動指令及び部隊運用に関すること。
- (2) 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (3) 消防用通信施設の運用及び維持管理に関すること。
- (4) 救急医療情報の収集及び伝達に関すること。
- (5) 消防信号に関すること。
- (6) 通信指令業務の訓練及び技術の指導に関すること。
- (7) 災害通信記録に関すること。
- (8) 消防気象観測及び統計に関すること。
- (9) 緊急通報システムの運用に関すること。
- (10) その他指令業務に関すること。

現有消防力の比較

この指針（平成12年1月20日消防庁告示第1号）は、市町村が火災の予防・警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命救助等を確実に遂行し、当該市町村の区域における消防の責務を十分に果たすために必要な施設及び人員について定められたものです。

市町村は、この指針に定められた施設及び人員を整備目標として、地域の実情に即した整備に取り組むことが望まれます。

【平成31年3月『消防力の整備指針』一部改正及び平成26年10月『消防水利の基準』一部改正】

(1) 施設

区分	種別	算定数	整備数	比率 (%)
署所		2	2	100
消防ポンプ自動車		4	4	100
はしご自動車		1	—	—
化学消防自動車		1	1	100
救急自動車		3	3	100
救助工作車		1	1	100
指揮車		1	—	—

※非常用消防自動車（指揮車）1台整備

(2) 人員

令和4年4月1日現在

区分	種別	算定数	現員数	比率 (%)
消防隊員 救急隊員 救助隊員 指揮隊員		96	71	73.96
通信員		4	5	125.00
予防要員		8	4	50.00
庶務の処理等人員		15	12 ※	80.00
消防吏員合計		123	92	74.80

※ 庶務の処理等人員に、市役所出向2名・埼玉県防災航空隊派遣1名・育児休業1名含む

消防職員配置状況

令和4年4月1日現在

所属	階級							
	合計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他
消防本部	19[3]	1	9	4	3[2]	2[1]		
消防署	53[4]		10	11[2]	4	22[1]	6[1]	
南分署	20		2	6	2	6	4	
合計	92[7]	1	21	21[2]	9[2]	30[2]	10[1]	

※消防本部に市役所出向者2名・埼玉県防災航空隊派遣1名・育児休業1名を含む

※[] : 女性 ※その他（再任用）は合計に含まない

階級年齢別消防職員数

令和4年4月1日現在

	合計	うち女性	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
18歳								
19歳	2							2
20歳	1							1
21歳	2							2
22歳								
23歳	3						1	2
24歳	5						4	1
25歳	5	1					3	2
26歳	4						4	
27歳	1						1	
28歳	7	1					7	
29歳	4						4	
30歳	5	1					5	
31歳	3					2	1	
32歳	4					4		
33歳								
34歳	1				1			
35歳	4	2			2	2		
36歳	5	1			5			
37歳								
38歳	4				3	1		
39歳								
40歳	1				1			
41歳	2				2			
42歳	2	1			2			
43歳								
44歳	4				4			
45歳	4			3	1			
46歳	4			4				
47歳	1			1				
48歳	4			4				
49歳	1			1				
50歳								
51歳	1			1				
52歳	1			1				
53歳								
54歳	1			1				
55歳								
56歳	2			2				
57歳	1			1				
58歳	3		1	2				
59歳								
60歳								
合計	92	7	1	21	21	9	30	10

勤続年階級別消防職員数

令和4年4月1日現在

	合計	うち女性	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
1年未満	2							2
1年	4							4
2年	2	1						2
3年	4						2	2
4年	3						3	
5年	5						5	
6年	7	1					7	
7年	4	1					4	
8年	2						2	
9年	5					2	3	
10年	7				1	3	3	
11年	2				1		1	
12年	6				5	1		
13年	3	2			2	1		
14年	2	1			1	1		
15年	0							
16年	0							
17年	1				1			
18年	4	1			3	1		
19年	0							
20年	1			1				
21年	0							
22年	2				2			
23年	1				1			
24年	2			2				
25年	4			2	2			
26年	4			2	2			
27年	2			2				
28年	2			2				
29年	2			2				
30年	2			2				
31年	1			1				
32年	1			1				
33年	1			1				
34年	1			1				
35年	0							
36年	0							
37年	2			2				
38年	0							
39年	1		1					
40年	0							
41年	0							
42年	0							
43年	0							
合計	92	7	1	21	21	9	30	10

学校・研修等受講状況

令和4年4月1日現在

実施機関	教育区分	修了者数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
消防大学校	幹部科	3		3					
	予防科	2		2					
	警防科	2	1		1				
	救急科	1		1					
	救助科	1		1					
	火災調査科	1			1				
	女性活躍推進コース	1			1				
	特別講習会	1			1				
埼玉県消防学校	初任教育科	86	1	21	21	9	30	4	
	専科教育	警防科	6		4	1		1	
		警防課程	5		5				
		無線通信課程	13		13				
		予防課程	3		3				
		火災調査課程	6		2	3	1		
		予防査察科	4		1	2		1	
		救急Ⅰ課程	4		4				
		救急Ⅱ課程	1		1				
		救急科標準課程	62	1	20	21	6	14	
		救助科	22	1	11	5	3	2	
	特殊災害科	2	1	1					
	教幹部	初級幹部科	7		2	4	1		
	特別教育	警防活動教育	7			3	1	3	
		実科指導員養成課程	7		6	1			
		幹部特別教育課程	2		1	1			
		実火災訓練教育	4			3		1	
救助隊長特別教育		1	1						
	指導救命士課程	6		1	5				
	救急救命士研修課程	18		6	12				

消防職員資格・免許取得状況

令和4年4月1日

	計	消防本部	庶務係	予防係	警防係	本 署				分 署		
						消防係	救助係	救急係	指令係	消防係	救急係	
						92	11	3	4	3	21	8
自動車免許	大型自動車運転免許	44	7	2	1	2	12	4	7	4	2	3
	中型自動車運転免許(8限定含む)	67	11	2	4	3	8	5	13	5	8	8
	準中型自動車運転免許	37		1	2		13	6	8		3	4
	普通自動車運転免許	9					4		1		4	
	大型特殊免許	1							1			
	けん引運転免許1種	1										1
	自動二輪運転免許	48	7	1	2	1	10	4	6	4	9	4
危険物取扱者	危険物取扱者 乙1	3	1	1							1	
	危険物取扱者 乙2	3	1						1		1	
	危険物取扱者 乙3	5	1						1	2	1	
	危険物取扱者 乙4	28	5	1	2	2	3		5	3	4	3
	危険物取扱者 乙5	5	1		1				1	1	1	
	危険物取扱者 乙6	4	1						1	1	1	
	危険物取扱者 丙種	7				2		1	1		2	1
消防設備士	消防設備士 乙1											
	消防設備士 乙2											
	消防設備士 乙3											
	消防設備士 乙4	1									1	
	消防設備士 乙5											
	消防設備士 乙6	4			1		2				1	
	消防設備士 乙7											
術予検防定技	予防技術検定(防火査察)	16	3	1	4		1		1		5	1
	予防技術検定(消防用設備等)	9	2		2		1				4	
	予防技術検定(危険物)	8	2		3						3	
無線技士	主任無線従事者	5					1			4		
	陸上特殊無線技士(第1級)	2	1					1				
	陸上特殊無線技士(第2級)	9	4	1					1	1	2	
	陸上特殊無線技士(第3級)	63	5	2	3		16	7	13	4	6	7
	航空特殊無線技士	1	1									
	アマチュア無線技士	1	1									
船小船舶型	小型船舶2級	5	2			1	1			1		
	小型船舶2級(湖川小出力限定)	18	5	1	1	2	2	4	3			
救命士	気管挿管認定者	18	2			1			8	2	2	3
	薬剤投与認定者	25	3	1		1			12	2	2	4
	ビデオ喉頭鏡認定者	16	2			1			6	2	2	3
	拡大二行為認定者	23	2			1			12	2	2	4
緊急自動車運転技能者	30	4	1	1	2	6	2	6	2	3	3	
潜水士	16	3	1	1	1	1	1	3	2	2	1	
小型移動式クレーン運転技能講習者	31	6	1	2	2	5	6	5	1	1	2	
玉掛技能講習者	33	6	1	2	3	6	6	5	1	1	2	
高所作業車運転技能講習者	10	5	1				2	1	1			
足場組立等作業主任者技能講習者	5	3				1		1				
ガス溶接技能講習者	17	6	1	1	1	1	3	2	1	1		
アーク溶接特別教育者	2	1								1		
有機溶剤作業主任者	3	2						1				
ワイヤーロープ点検基準講習者	7	2		1			1	1	1	1		
第2種酸欠危険作業主任者	12	5	1	1	1		1	1	2			
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	15	2	1	1	1	2	4	3		1		
テクニカルロープレスキュー	9	3		1		1	4					
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	13	3			2	2	3		1	2		

※消防本部の内訳は消防長・署長・課長・分署長・副署長及び各係に属さない職員。

消防水利設置状況

消防水利には、消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に分類できますが、当市では大部分を人工水利が占めています。

消防水利は、常時貯水水量が40立方メートル以上又は取水可能水量が毎分1立方メートル以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有する必要があります。

消火栓は連続的に給水でき、かつ、簡便に使用できる反面、配管口径による取水制限、断・減水時の取水難、さらに大地震時の配管破損などの弱点をあわせもっています。

こうした消火栓の弱点をカバーするために、防火水槽などを地域の実情に合わせて計画的に整備する必要があります。

消 防 水 利 表

令和4年4月1日現在

消防水利	消火栓	防火水槽（公設）		防火水槽（私設）		その他	
		防火水槽	うち 2次製品 （耐震式 含む）	防火水槽	うち 2次製品 （耐震式 含む）	河川等	プール
合 計							
877	659	85	31	113	47	7	14

* 河川等には（最沈槽1・受水槽1・蓄熱槽1・排水槽2・分離液貯留槽1）を含む

* 元荒川（椿山2丁目地内）を指定

消防自動車配置状況 (消防本部・署)

令和4年4月1日現在

配置	種別	車名	型式	ポンプ 会社名	ポンプ 級別・型式	購入 年月日	備考
消防本部	指令車	ホンダ	DBA-RK1			H22.3	ステップワゴン
	指揮車	日産	DBA-NT32			H29.9	エクストレイル
	ボート トレーラー	組立	組立			H29.9	
	連絡車	トヨタ	DBA-NZE141			H19.3	カローラ
	連絡車	スズキ	DBA-MH34S			H26.6	寄贈車 贈 セイコー アドバンス
	連絡車	スズキ	DAA-MH55S			H30.5	寄贈車 贈 セイコー アドバンス
	連絡車	スズキ	EBD-DA64V			H21.5	エブリイ
消防署	水槽付 ポンプ車	ヒノ	2KG-GX2ABA	(株)モリタ	A-2級 I-B型	H31.2	水槽 1500L
	消防 ポンプ車	ヒノ	SKG-XZU640M	長野ポンプ (株)	A-2級 CD-I型	H24.3	水槽 700L
	化学車	ヒノ	ADG-GD7 JGWA改	(株)モリタ	A-2級 II型	H18.3	水槽 1300L 薬液 500L
	救助 工作車	ヒノ	BDG-GX7J GWA改		II型	H23.2	
	救急車	トヨタ	CBF-TRH226S		高規格	H19.3	予備車
	救急車	トヨタ	CBF-TRH226S		高規格	H28.3	
	救急車	トヨタ	CBF-TRH226S		高規格	H30.1	
	資機材 搬送車	ヒノ	TPG-XZU712M			H30.8	寄贈車 贈 セイコー アドバンス
南分署	広報 指導車	トヨタ	CBA-NCP58G			H22.2	寄贈車 贈 セイコー アドバンス
	水槽付 ポンプ車	ヒノ	ADG-FD7 JEWA改	(株)モリタ	A-2級 I-A型	H18.3	水槽 1100L
	消防 ポンプ車	ヒノ	2RG-XZU640M	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	R2.12	水槽 600L
	救急車	トヨタ	CBF-TRH226S		高規格	H25.1	

消防相互応援協定

この協定は、消防組織法第39条の規定に基づき、市・消防本部及び組合消防本部と相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的とする。

令和4年4月1日現在

市・町・組合	協定締結年月日	協定内容（災害種別）
伊 奈 町	平成18年11月14日	伊奈町・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
さいたま市	平成18年9月6日	さいたま市・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
上 尾 市	平成18年12月1日	上尾市・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
埼玉県央広域	平成19年1月1日	埼玉県央広域・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
埼玉県下の市町村、 消防の一部事務組合 及び消防を含む一部 事務組合	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定
久 喜 市	平成24年6月6日	蓮田市・久喜市消防相互応援協定（消防団） (災害特定なし)
白 岡 市	平成25年4月1日	白岡市・蓮田市消防相互応援協定（消防団） (災害特定なし)
埼玉東部消防組合	平成25年4月26日	蓮田市・埼玉東部消防組合消防相互応援協定 (消防団除く、災害特定なし)
川口市・さいたま市・ ・埼玉東部消防組合・ 羽生市・群馬県館林地 区消防組合	平成27年3月27日	東北高速道路管内市町・組合（火災・救急）間の 消防相互応援協定

その他の応援協定

令和4年4月1日現在

締結機関	協定締結年月日	協定内容
埼玉県	平成3年3月29日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定
埼玉県鉄道災害消防活動連絡協議会	平成18年12月1日	鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定
埼玉県	平成19年11月27日	埼玉県と消防機関及び埼玉DMATの災害時等における高速自動車国道等の使用の取扱いに関する協定
大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定	平成31年2月15日	管轄区域で発生した大規模火災発生時に必要な消火用水の搬送協力に関する協定
災害時における消防活動の協力に関する協定	令和元年12月13日	蓮田市内において、火災、風水害、地震等の災害が発生し、または発生のおそれがある場合に必要な消防活動の協力業務に関する協定

月別気象統計

令和3年中

	最高 気温	最低 気温	平均 気温	最大 風速	平均 風速	最高 湿度	最小 湿度	平均 湿度	総雨量	快 晴	晴 れ	曇 り	雨	雪
1月	16.4	-6.5	3.6	20.2	1.6	95.5	12.5	55.3	28.0	15	4	10	2	0
2月	21.3	-3.3	6.6	23.8	2.5	99.9	14.9	45.8	47.5	18	7	2	1	0
3月	23.6	-0.1	11.3	22.4	2.5	98.6	15.5	57.6	117.0	6	11	12	2	0
4月	25.4	4.0	14.2	18.8	2.3	98.0	7.2	55.5	62.5	0	19	8	3	0
5月	29.5	10.5	19.0	20.2	2.1	98.3	14.9	68.9	71.0	0	11	13	7	0
6月	32.1	15.0	22.4	16.3	1.9	98.0	28.0	73.5	147.0	0	11	16	3	0
7月	35.8	18.1	25.8	14.5	1.7	98.3	36.9	80.0	242.5	0	13	11	7	0
8月	36.2	17.7	27.2	20.8	2.1	98.0	32.4	77.7	139.0	0	13	10	8	0
9月	31.5	15.3	21.7	10.2	1.5	98.3	23.0	80.3	109.0	0	13	11	6	0
10月	30.1	6.4	17.3	19.1	1.7	97.5	29.9	74.7	117.1	9	10	6	6	0
11月	21.6	0.1	12.1	14.8	1.3	98.6	23.6	65.4	56.0	15	7	7	1	0
12月	18.1	-4.6	6.1	24.2	2.0	98.0	20.2	59.4	95.5	19	5	5	2	0
合計									1232.1	82	124	111	48	0
平均	26.8	6.1	15.6	18.8	1.9	98.1	21.6	66.2	102.7					

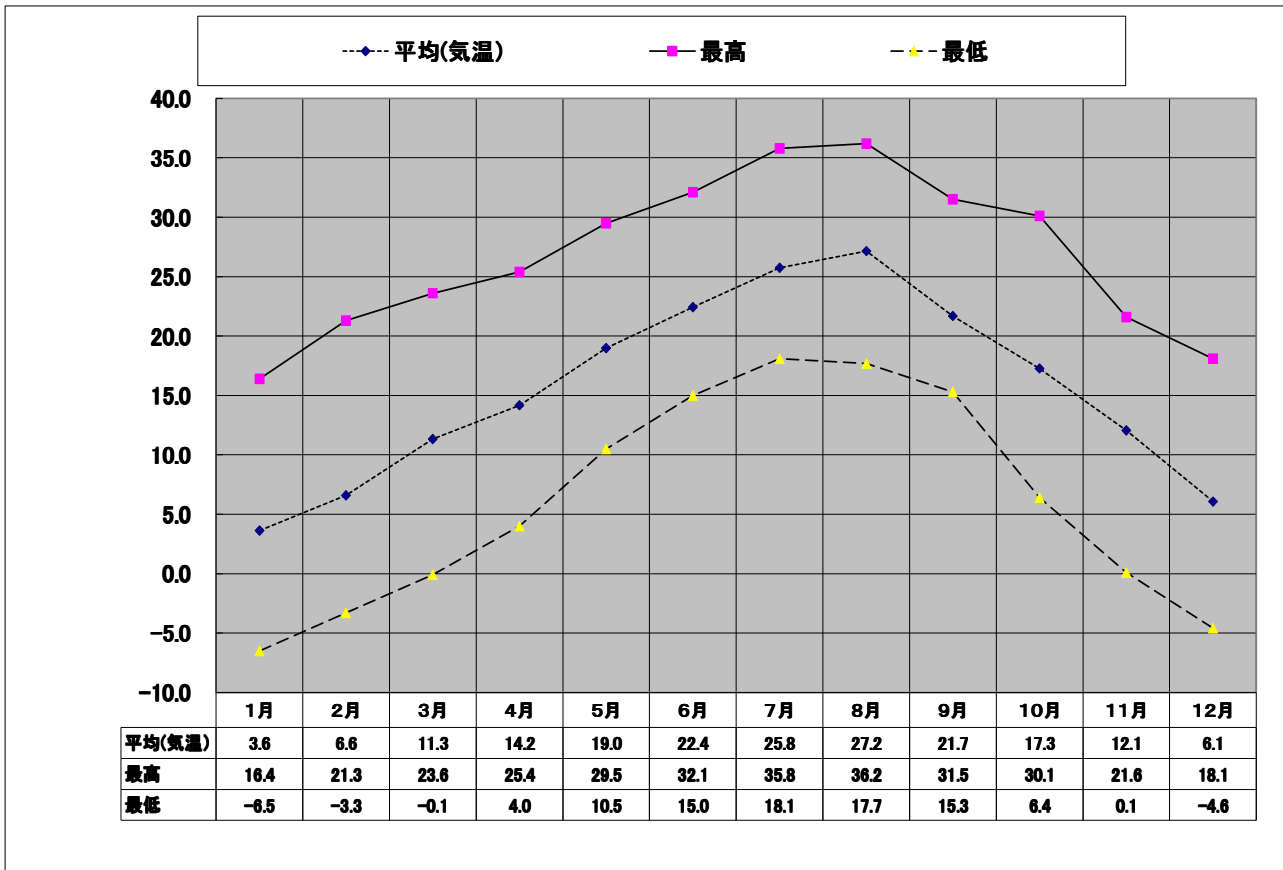
各注意報・警報発令状況

令和3年中

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
警報	暴風警報														
	暴風雪警報														
	大雨警報							1						1	
	洪水警報														
	雷警報														
	大雪警報														
合計								1						1	
注意報	風雪注意報														
	強風注意報	3	9	7	5	1		1	3		5	2	8	44	
	大雨注意報		1	1	1		4	6	5	2	1		1	22	
	洪水注意報							2						2	
	大雪注意報	1												1	
	雷注意報		1	4	7	8	12	11	23	5	4	2	1	78	
	乾燥注意報	4	2	6	5	4						1	3	25	
	濃霧注意報	3		1		12	4	6	7		9	3	4	49	
	霜注意報			4	5										9
	高温注意報														
	低温注意報	2													2
	竜巻注意報														
着雪注意報	1													1	
合計		14	13	23	23	25	20	26	38	7	19	8	17	233	

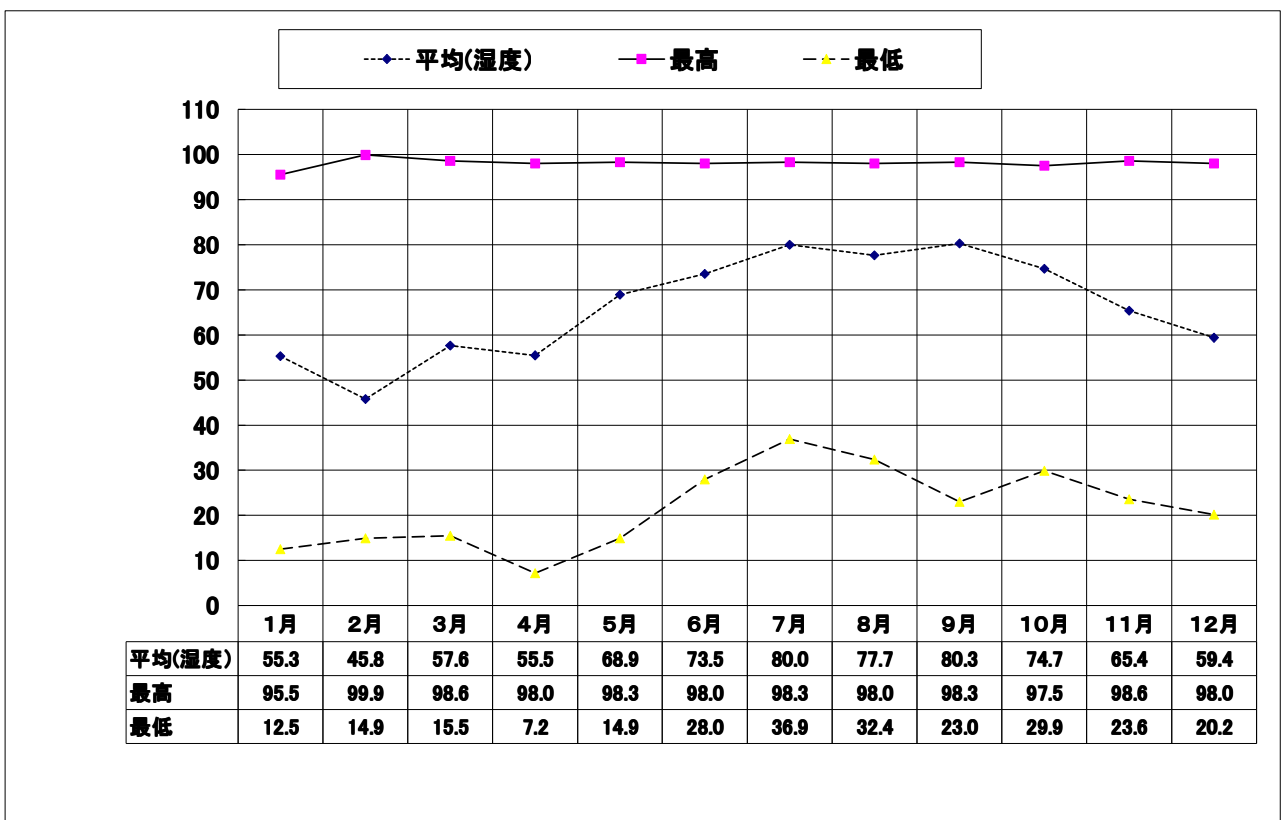
気温

令和3年中



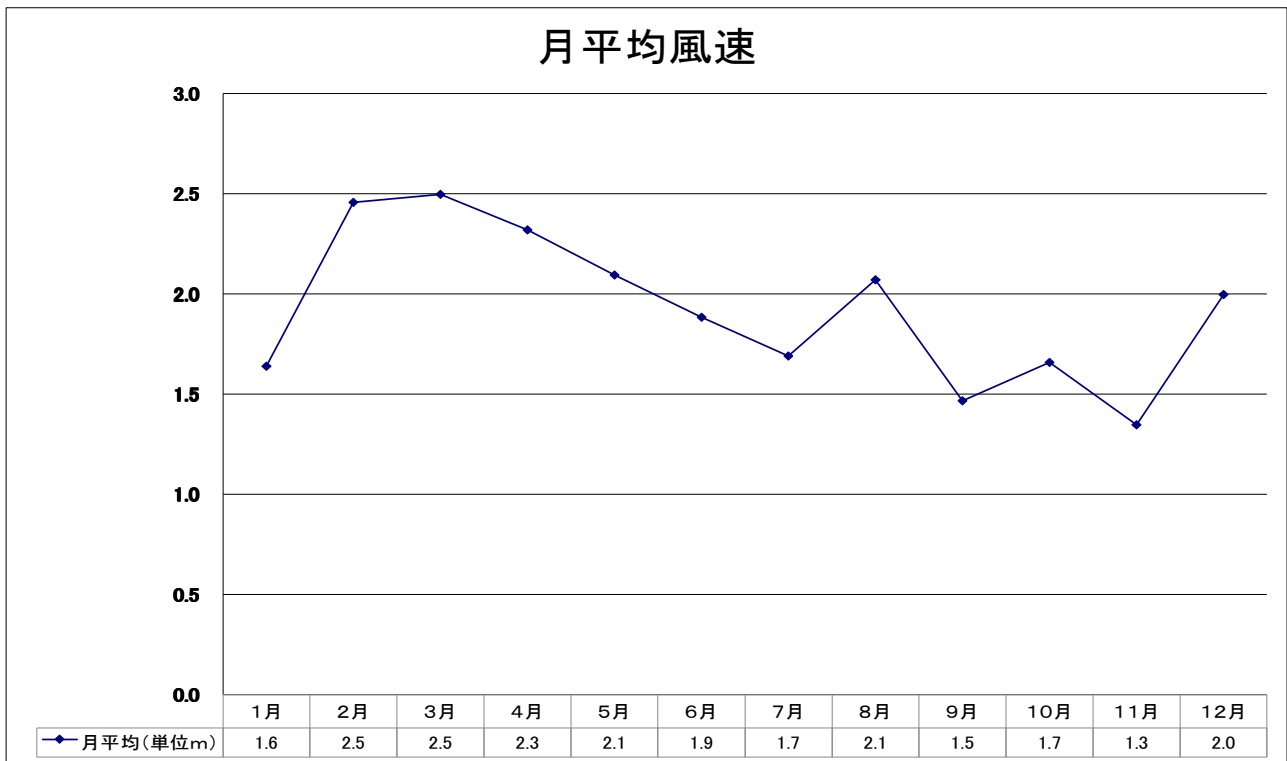
湿度

令和3年中



風速

令和3年中

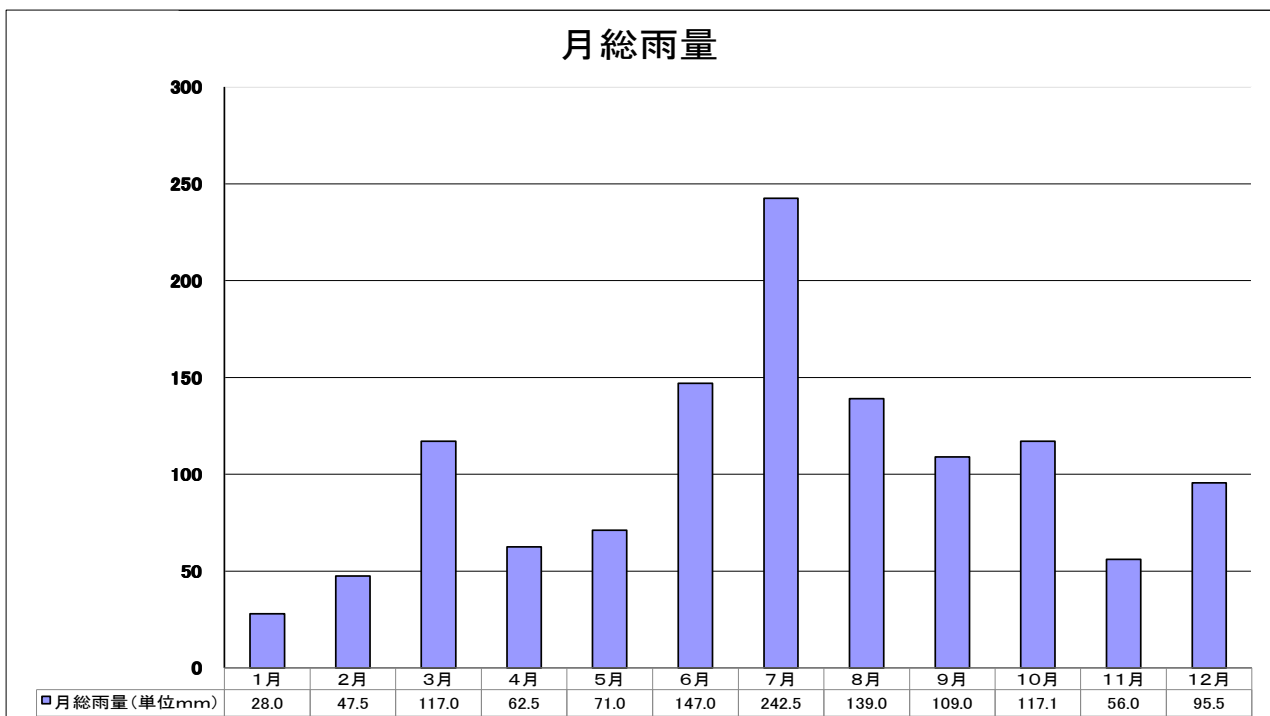


風速単位：m/s

年平均風速	m/s	1.9
--------------	------------	------------

雨量

令和3年中



雨量単位：mm

年間総雨量	mm	1232.1
年間平均雨量	mm	102.7

予防関係

防火対象物状況

令和4年3月31日現在

用途	内容	総数	防火管理を必要とする事業所数		査察		
			地下1階以下	地上5階以上			
			甲種	乙種			
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	0					
	ロ 公会堂、集会場	27		9	12		
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等	0					
	ロ 遊技場、ダンスホール	3		3			
	ハ 風俗営業等	0					
	ニ カラオケボックス、個室店舗等	1		1			
3	イ 待合、料理店等	2		2			
	ロ 飲食店	43		5	27		
4	百貨店、店舗、マーケット等	91	1	47	15	4	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	4		2	4		
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	645		23	11	394	
6	※1	イ 1 特に防火対策の必要性の高い病院	2	1	1		
		イ 2 特に防火対策の必要性の高い診療所	3		3		
		イ 3 1・2以外の病院、有床診療所、有床助産所	16	3	3		
		イ 4 無床診療所、無床助産所	25		4	1	
	※2	ロ 1 高齢者施設	21	2	19		2
		ロ 2 生活保護者施設	0				
		ロ 3 児童施設	0				
		ロ 4 障害児施設	0				
		ロ 5 障害者施設	1		1		
	※3	ハ 1 高齢者施設	11		3	2	
		ハ 2 生活保護者施設	0				
		ハ 3 児童施設	19		12	2	
		ハ 4 障害児施設	5				
		ハ 5 障害者施設	16		3		
	ニ 幼稚園、特別支援学校	10		5			
	7	小、中、高等学校、各種学校	59		2	15	
	8	図書館、博物館、美術館	2		2		
	9	イ 蒸気浴場、熱気浴場	0				
		ロ イに掲げる以外の公衆浴場	0				
10	車両の停車場等	1					
11	神社、寺院、教会	18	1	5	4		

用途		内容	総数	防火管理を必要とする事業所数		査察			
				地下1階以下	地上5階以上			甲種	乙種
12	イ	工場、作業場	217	1		20			
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0						
13	イ	自動車車庫、駐車場	18						
	ロ	飛行機の格納庫	0						
14		倉庫	148	3		6		1	
15		前各項に該当しない事業場	185	8	1	16	5	1	
16	イ	特定対象物の複合用途建物	108	2	5	29	6	2	
	ロ	イ以外の複合用途建物	70	2	3	5		1	
16の2		地下街	0						
16の3		準地下街	0						
17		重要文化財・史跡等	0						
18		延長50m以上のアーケード	0						
合 計			1,771	18	42	234	74	405	

注1：防火対象物は棟単位とし、地下1階以下及び地上5階以上は内数とする。

注2：防火管理を必要とする事業所数は事業所単位とする。（複合用途を除く）

※1：病院・診療所等

1：診療科目に特定診療科名（内科・整形外科・リハビリテーション科等）を有し、療養病床又は一般病床を有するもの

2：特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させるための施設を有するもの

（平成28年度より細分化）

※2 自力避難困難者入所福祉施設等

1：特別養護老人ホーム・有料老人ホーム・介護老人保健施設等

2：救護施設

3：乳児院

4：障害児入所施設

5：障害者支援施設・短期入所を行う施設又は共同生活援助を行う施設

※3 老人福祉施設、児童養護施設等

1：老人デイサービスセンター・老人福祉センター等

2：更生施設

3：保育所、幼保連携型認定こども園・児童養護施設等

4：児童発達支援センター・児童心理治療施設等

5：身体障害者福祉センター・地域活動センター・福祉ホーム等

（平成27年度より細分化）

中高層防火対象物（棟）

令和4年3月31日現在

用途		階別	4階以下	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	総数	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場									0	
	ロ	公会堂、集会場	1								1	
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等									0	
	ロ	遊技場、ダンスホール									0	
	ハ	風俗営業等									0	
	ニ	カラオケボックス、個室店舗等									0	
3	イ	待合、料理店等									0	
	ロ	飲食店									0	
4		百貨店、店舗、マーケット等	1								1	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		2							2	
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	1	16	3		2		1	1	24	
6	イ	※1 1	特に防火対策の必要性の高い病院	1			1				2	
		2	特に防火対策の必要性の高い診療所								0	
		3	1・2以外の病院、有床診療所、有床助産所	1		1	2				4	
		4	無床診療所、無床助産所								0	
	ロ	※2 1	高齢者施設	2		1				1		4
		2	生活保護者施設									0
		3	児童施設									0
		4	障害児施設									0
		5	障害者施設									0
	ハ	※3 1	高齢者施設									0
		2	生活保護者施設									0
		3	児童施設									0
		4	障害児施設									0
		5	障害者施設									0
	ニ		幼稚園、特別支援学校									0
	7		小、中、高等学校、各種学校	5	2							7
	8		図書館、博物館、美術館									0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場									0	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									0	
10		車両の停車場等									0	
11		神社、寺院、教会									0	
12	イ	工場、作業場	7								7	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ									0	

用途		階別	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	総数
		以下							以上		
13	イ	自動車車庫、駐車場									0
	ロ	飛行機の格納庫									0
14		倉庫	4								4
15		前各項に該当しない事業場	1	1							2
16	イ	特定対象物の複合用途建物	3	3	1					1	8
	ロ	イ以外の複合用途建物		2	1						3
16の2		地下街									0
16の3		準地下街									0
17		重要文化財・史跡等									0
18		延長50m以上のアーケード									0
合 計			27	26	7	3	2	0	2	2	69

※1・※2・※3については防火対象物状況参照

注) 中高層防火対象物とは、高さ15m以上又は地階を除く階が5以上のものをいう。

消防同意

令和3年度

用途	種別	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替	用途更	その他	合計	
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場									0	
	ロ 公会堂、集会場	1								1	
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等									0	
	ロ 遊技場、ダンスホール									0	
	ハ 風俗営業等									0	
	ニ カラオケボックス、個室店舗等							1		1	
3	イ 待合、料理店等									0	
	ロ 飲食店									0	
4	百貨店、店舗、マーケット等		1							1	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所									0	
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	6								6	
6	※1 イ	1 特に防火対策の必要性の高い病院								0	
		2 特に防火対策の必要性の高い診療所								0	
		3 1・2以外の病院、有床診療所、有床助産所								0	
		4 無床診療所、無床助産所								0	
	※2 ロ	1 高齢者施設	4								4
		2 生活保護者施設									0
		3 児童施設									0
		4 障害児施設									0
		5 障害者施設									0
	※3 ハ	1 高齢者施設									0
		2 生活保護者施設									0
		3 児童施設	1								1
		4 障害児施設									0
		5 障害者施設									0
	ニ 幼稚園、特別支援学校									0	
	7	小、中、高等学校、各種学校									0
	8	図書館、博物館、美術館									0
	9	イ 蒸気浴場、熱気浴場									0
ロ イに掲げる以外の公衆浴場										0	
10	車両の停車場等									0	
11	神社、寺院、教会									0	
12	イ 工場、作業場	5								5	
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ									0	

用途	種別	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替	用途変更	その他	合計
13	イ	自動車車庫、駐車場								0
	ロ	飛行機の格納庫								0
14	倉庫	1								1
15	前各項に該当しない事業場	4	2							6
16	イ	特定対象物の複合用途建物	2							2
	ロ	イ以外の複合用途建物	2							2
16の2	地下街									0
16の3	準地下街									0
17	重要文化財・史跡等									0
18	延長50m以上のアーケード									0
	専用住宅	3								3
	長屋	10								10
	その他	2	1							3
	合計	41	4	0	0	0	0	1	0	46

※1・※2・※3については防火対象物状況参照

訓練及び広報活動状況

消防訓練

令和3年度

種別	回数・人	延べ訓練回数	181回
		延べ訓練参加人数	6,255人
消火訓練	訓練回数	146回	
	参加人数	4,709人	
避難訓練	訓練回数	169回	
	参加人数	5,748人	
通報訓練	訓練回数	119回	
地震・煙体験・救出救護訓練など その他の訓練	訓練回数	7回	
	参加人数	252人	

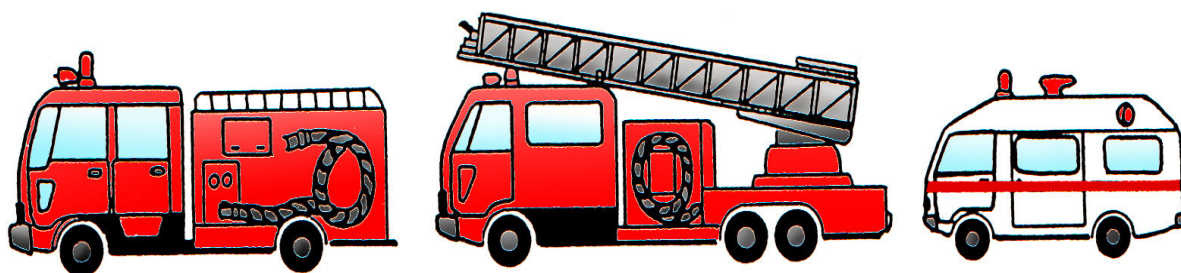
※ 消防本部に届出のあったものです。

※ 市内の自主防災組織、自治会で届出のあったものを含みます。

広報活動

令和3年度

種別	対象	件数
消防車による巡回広報活動	市内全域	76回 69時間45分
火災予防啓発活動	一般	—
住宅用防災警報機PR活動	一般	対象物等 2回



予防関係届出状況

(消防用設備着工届出・設置届出状況)

令和3年度

設 備 名			着工届出	設置届出	
消防の 用に 供する 設備	消防用 設備等	消火器		17	
		屋内消火栓設備	1	4	
		スプリンクラー設備	3	5	
		水噴霧等消火設備			
		泡消火設備			
		不活性ガス消火設備			
		ハロン化物消火設備			
		粉末消火設備			
		屋外消火栓設備			
		動力消防ポンプ設備			
		フード等用簡易消火設備			
	警報設備	自動火災報知設備	19	35	
		ガス漏れ火災警報設備			
		漏電火災警報設備			
		消防機関へ通報する火災報知設備	1	1	
		非常警報設備	1	8	
	避難設備	避難器具	2	2	
		誘導灯	1	22	
		誘導標識		1	
	消防用水				
	消火活動上必要な 施設	排煙設備			
		連結散水設備			
		連結送水管			
		非常コンセント設備			
		無線通信補助設備			
		総合操作盤			
	必要とされる防火安全 性能を有する消防の用 に供する設備等	パッケージ型消火設備			
パッケージ型自動消火設備					
住戸用自動火災報知設備					

消防法・蓮田市火災予防条例に基づく届出等の状況

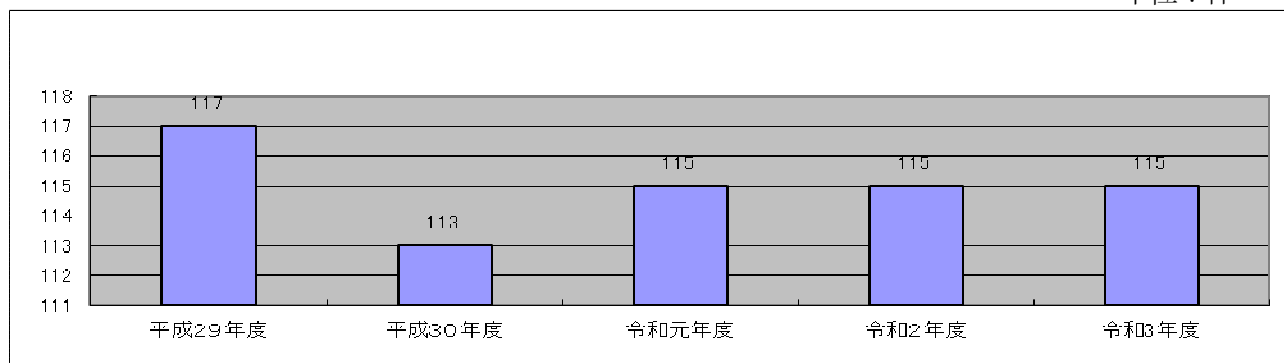
令和3年度

届出項目	件数
防火管理者選（解）任届出	78
消防計画作成（変更含む）届出	82
防火対象物定期点検結果報告	17
防火対象物点検報告特例認定申請	1
消防用設備等着工届出	28
消防用設備等設置届出	95
消防用設備等点検報告	337
自衛消防組織設置（変更）届出	1
防火対象物名称（代表者）等変更届出	6
防火対象物使用開始届出	39
火災とまぎらわしい届出	8
煙火打ち上げ	0
発電設備届出	4
変電設備届出	3
蓄電池設備届出	2
催物開催届出	0
露店等の開設届出	0
給湯湯沸設備設置届出	3
禁止行為の解除承認申請	10
少量危険物貯蔵取扱い届出	1
圧縮アセチレン等の貯蔵取扱い（開始）届出	7
指定可燃物貯蔵取扱い届出	5
乾燥設備設置届出	1

危険物施設状況

危険物施設等の過去5年の推移

単位：件



危険物類別施設数

令和4年3月31日現在

区分	種別	種別						混在	合計
		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類		
	製造所				2			2	4
貯蔵所	屋内貯蔵所				18			1	19
	屋外貯蔵所				1				1
	屋内タンク貯蔵所								0
	屋外タンク貯蔵所				23				23
	地下タンク貯蔵所				21				21
	移動タンク貯蔵所				8				8
取扱所	給油取扱所				19				19
	一般取扱所				20				20
合計		0	0	0	112	0	0	3	115

危険物関係手数料内訳

令和3年度

区分	内容	許可		完成検査		タンク検査		仮使用等承認	合計
		設置	変更	設置	変更	水圧	水張		
	製造所			26,000					26,000
貯蔵所	屋内貯蔵所				5,000				5,000
	屋外貯蔵所								0
	屋内タンク貯蔵所								0
	屋外タンク貯蔵所		20,000		10,000			5,400	35,400
	地下タンク貯蔵所								0
	移動タンク貯蔵所								0
取扱所	給油取扱所		78,000		39,000			16,200	133,200
	一般取扱所		85,500		59,250			10,800	155,550
合計		0	183,500	26,000	113,250	0	0	32,400	355,150

危険物製造所等の設置許可状況（数量別）

令和4年3月31日現在

区分 倍数別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	
施設数	4	19	1	0	23	21	8	19	20	115
10倍以下		11	1		7	12	7		12	50
10倍を越え100倍以下	1	6			11	7	1	7	6	39
100倍を越え200倍以下	2	2			1			4	2	11
200倍を越え1000倍以下	1				4	2		8		15
1000倍を超えるもの										0

危険物事務処理状況

令和3年度

区分 内容	製造所	貯蔵所						取扱所		合計	
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所		
処理 件 数	許可申請	設置								0	
		変更				2			3	3	8
	仮使用等承認申請								3	2	5
	承認件数								3	2	5
	保安監督者選任届出		2	1		1			4	5	13
	完成検査件数		1	1		2			3	4	11
	完成検査済証交付数	設置	1								1
		変更		1		2			3	4	10
	タンク検査申請										0
	タンク検査済証交付数	水張									0
		水圧									0
	予防規定認可申請	制定							1		1
		変更	1								1

移譲事務処理状況

1 火薬類に係る許認可関係

令和3年度

火薬類 及び種類 許可の分類	産 業 火 薬 類						煙 火		合 計	
	火 薬		火 工 品		火薬・火工品		件数	金額	件数	金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額				
譲渡許可									0	0
譲 受 許 可	火工品のみ								0	0
	火薬 25 kg以下								0	0
	火薬 25 kg超								0	0
消費許可									0	0
合計	0 ()	0	0 ()	0	0 ()	0	0	0	0 ()	0

注1 譲受消費許可の場合は、譲受許可として計数しています。

その場合** () 内にも計数しますので、() 内は手数料不要の消費許可件数となります。

注2 国の機関への承認は、この表には含めていません。

注3 金額の単位は円です。

2 液化石油ガス、高圧ガス等に係る許認可関係

液化石油ガス設備工事の届出

令和3年度

貯蔵設備	件数
容器	1
バルク貯槽	0
バルク容器	0
合計	1

特定液化石油ガス設備工事事業の開始、変更又は廃止届出

令和3年度

届出	件数
開始	0
廃止	0
変更	1
合計	1

火災発生状況

令和2年～令和3年

区分		年度	令和3年 (件)	令和2年 (件)	増減 (件)
火災発生件数			17	10	7
種別	建物火災		5	4	1
	車両火災		0	3	△3
	その他火災		12	3	9
負傷者			1	4	△3
死者			3	0	3
焼損表面積 (㎡)			13.19	1	12
焼損床面積 (㎡)			540.12	11	529
焼損棟数			12	5	7
火元焼損区分	全焼		1	0	1
	半焼		0	0	0
	部分焼		2	1	1
	ぼや		2	3	△1
延焼による棟数			7	1	6
り災世帯			7	3	4
り災人員			14	8	6
損害額	建物(千円)		51,052	958	50,094
	内容物(千円)		1,280	1	1,279
	その他(千円)		4,006	1,578	2,428
	合計(千円)		56,338	2,537	53,801
出火原因	放火(疑い含む)		1	1	0
	たばこ		2	1	1
	こんろ		2	0	2
	その他		8	7	1
	不明		4	1	3

(注) 1 △は負数を表します。

2 出火原因のその他とは、放火(疑い含む)・たばこ・こんろ・不明以外の原因をいいます。

月別火災発生状況

令和3年中

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		火災発生件数	2	3	1	2	2	0	0	1	2	1	2	1
種別	建物火災	1	2								1	1		5
	車両火災													0
	その他火災	1	1	1	2	2			1	2		1	1	12
負傷者											1			1
死者		1			1							1		3
焼損表面積 (㎡)		0.19	11								2			13.19
焼損床面積 (㎡)		539.92										0.2		540.12
焼損棟数		8	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	12
火元焼損区分	全焼	1												1
	半焼													0
	部分焼		1								1			2
	ぼや		1									1		2
延焼による棟数		7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
延焼棟焼損区分	全焼	3												3
	半焼	2												2
	部分焼	0												0
	ぼや	2												2
り災世帯		4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	7
損害区分	全損	3												3
	半損	0												0
	小損	1	1								1	1		4
り災人員		6	4								3	1		14
損害額	建物(千円)	50,904	136									12		51,052
	内容物(千円)	1,238	42											1,280
	その他(千円)	3,499		300					207					4,006
	合計(千円)	55,641	178	300	0	0	0	0	207	0	0	12	0	56,338

月・区分別出火原因の火災発生状況

令和3年中

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災発生件数		2	3	1	2	2	0	0	1	2	1	2	1	17
種別	建物火災	1	2								1	1		5
	車両火災													0
	その他火災	1	1	1	2	2			1	2		1	1	12
主な出火原因別	焚き火・枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末		1		1	1						1		4
	ろうそく等の裸火													0
	交通事故													0
	たばこ					1					1			2
	ストーブ	1												1
	ガスコンロ		1									1		2
	電灯・電話等の配線									1				1
	電気装置													0
	放火（疑い含む）				1									1
	その他		1								1			2
	不明	1		1						1			1	4

主な出火原因別	種別（件）	焼損棟数（棟）								り災世帯	り災人員	死傷者（人）			
		合計	建物	車両	その他	合計	全焼	半焼	部分焼			ぼや	死者	負傷者	
	枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末	4			4	0								1	
	ろうそくの裸火	0				0									
	交通事故	0				0									
	たばこ	2	1		1	1			1		1	3			1
	ストーブ	1	1			8	4	2	0	2	4	6		1	
	ガスコンロ	2	2			2			1	1	2	5			
	電灯・電話等の配線	1			1	0									
	電気装置	0				0									
	放火（疑い含む）	1			1	0								1	
	その他	2	1		1	1				1					
	不明	4			4	0									

地域別出火件数

令和3年中

区分		地区									
		綾瀬	井沼	閨戸	江々崎	御製橋	貝塚	上	上平野	川島	黒浜
火災発生件数		0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
種別	建物火災										2
	車両火災										
	その他火災				1		1			1	2
区分		地区									
		藤ノ木	駒崎	桜台	笹山	城	末広	関山	高虫	椿山	西新宿
火災発生件数		1	1	0	0	0	0	1	1	0	0
種別	建物火災	1									
	車両火災										
	その他火災		1					1	1		
区分		地区									
		西城	根金	蓮田	東	本町	馬込	緑町	南新宿	易野	山ノ内
火災発生件数		0	2	0	0	0	3	0	0	1	0
種別	建物火災						2				
	車両火災										
	その他火災		2				1			1	

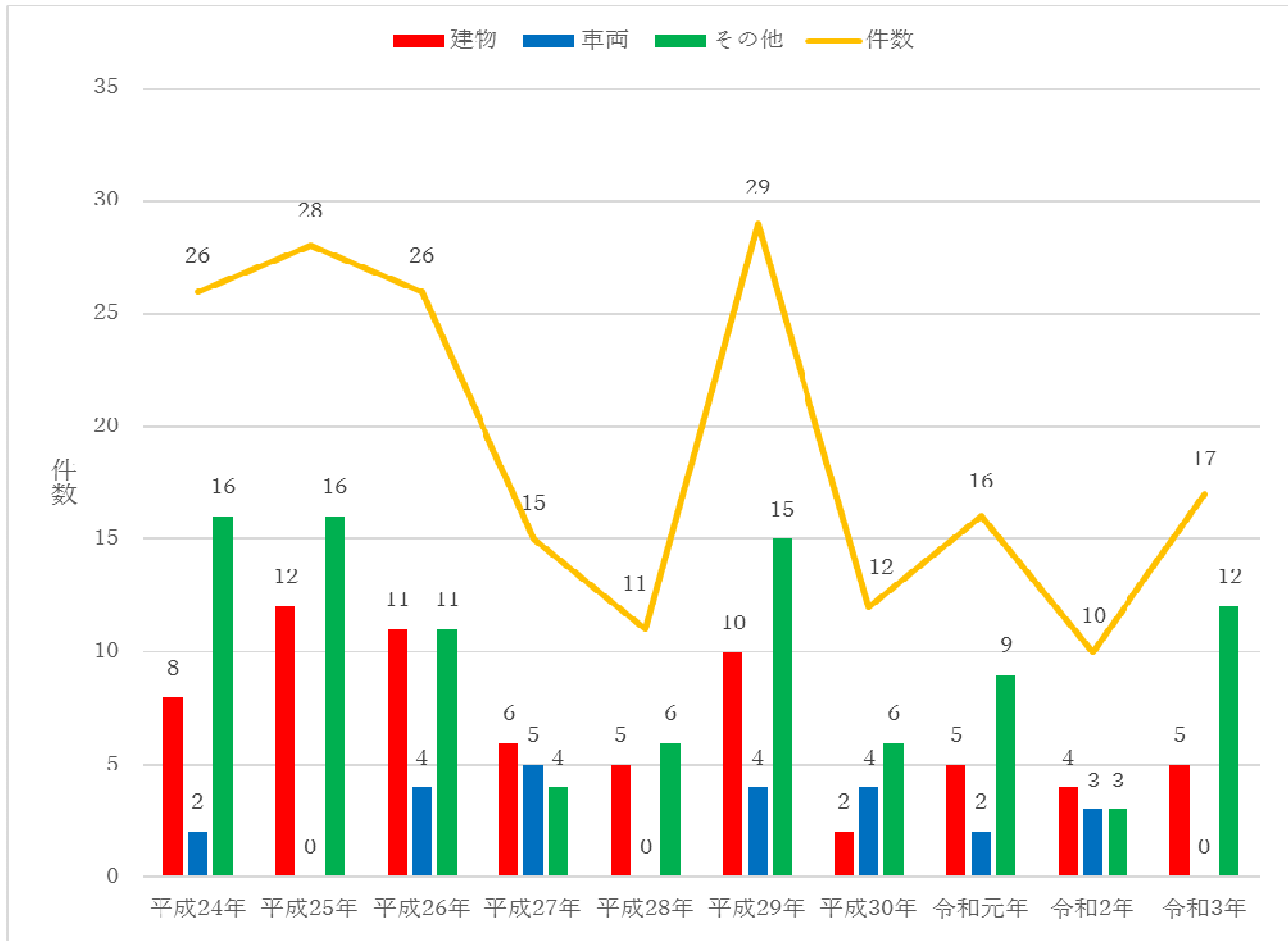
原因別火災発生状況

(過去5年間)

原因別	年別					
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	合計
焚き火・枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末	11	4	4	4	4	27
ストーブ	0	0	1	0	1	2
電灯・電話等の配線	0	0	0	0	1	1
子供の火遊び	0	0	0	0	0	0
たばこ	0	1	0	1	2	4
ガスコンロ	2	0	0	0	2	4
放火(疑い含む)	1	1	3	1	1	7
その他	6	3	4	3	2	18
不明	9	3	4	1	4	21
合計	29	12	16	10	17	84

過去 10 年間の火災発生件数

平成 24 年～令和 3 年

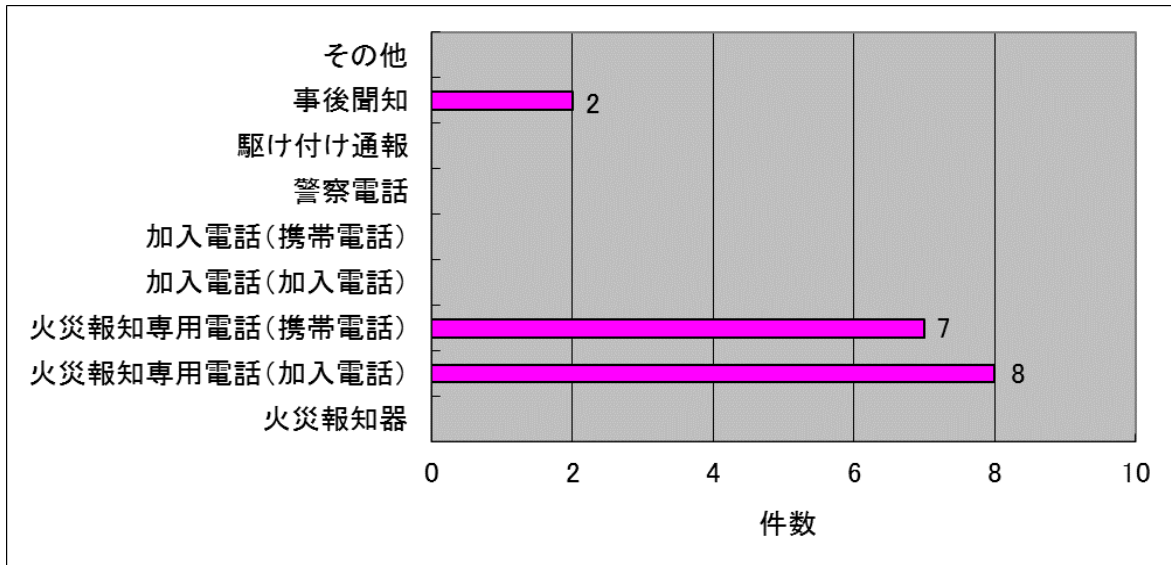


年別	H24 年	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R 元年	R2 年	R3 年
件数	26	28	26	15	11	29	12	16	10	17
建物	8	12	11	6	5	10	2	5	4	5
車両	2	0	4	5	0	4	4	2	3	0
その他	16	16	11	4	6	15	6	9	3	12
損害額	85,000	131,729	32,152	17,311	63,467	24,096	1,124	34,072	2,537	56,338
建物	24,718	11,585	20,338	15,957	13,938	8,427	0	29,631	958	51,052
収容物	39,005	114,608	7,365	1,184	49,529	10,556	2	2,771	1	1,280
その他	21,277	5,536	4,449	170	0	5,113	1,122	1,670	1,578	4,006
死者	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
負傷者	1	4	3	4	0	5	0	1	4	1

(注) 損害額の単位は千円です。

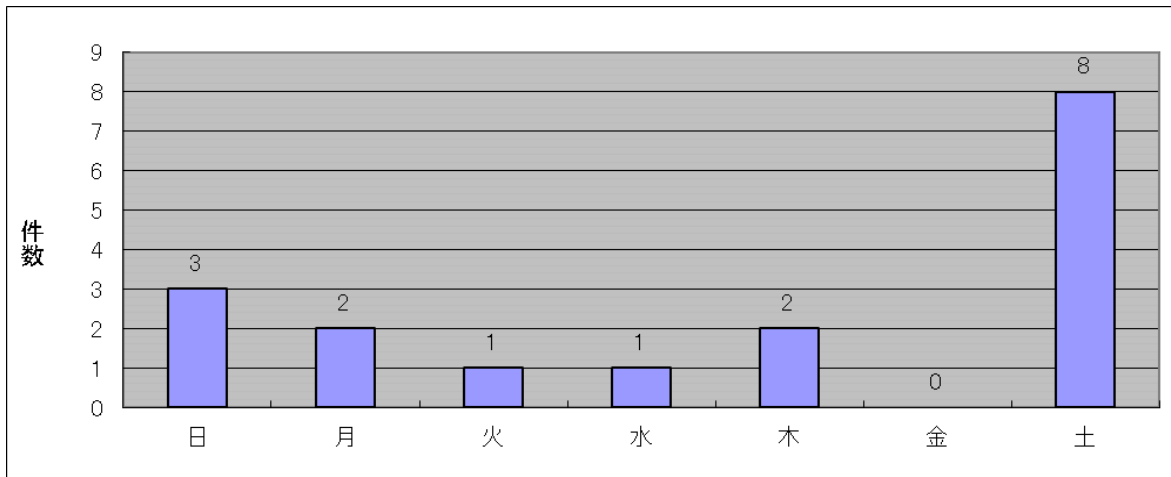
覚知別火災発生状況

令和3年中



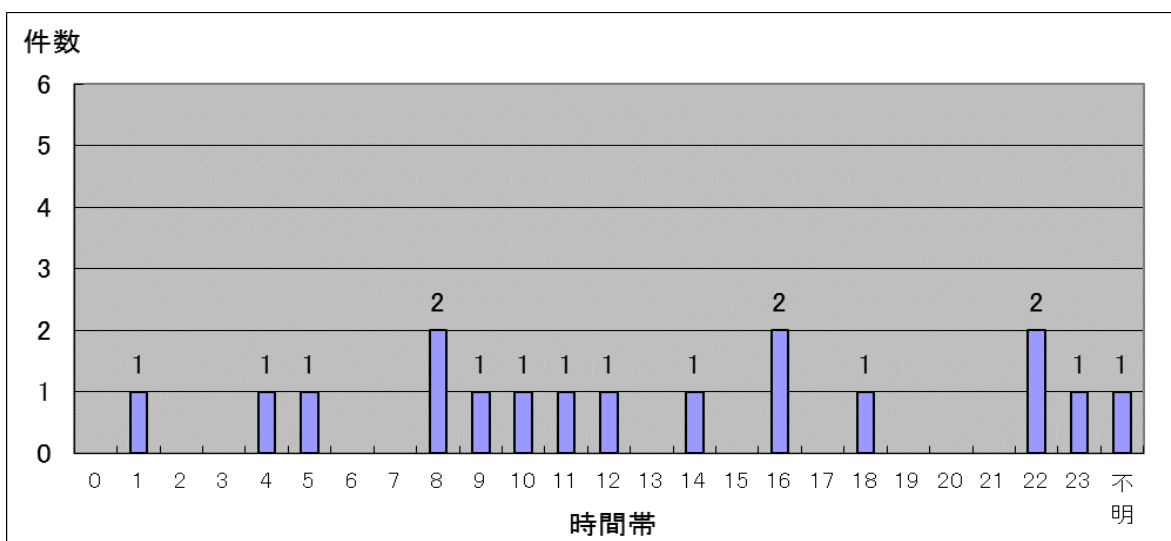
曜日別火災発生状況

令和3年中



時間帯別火災発生状況

令和3年中



救急・救助関係

救急の概要

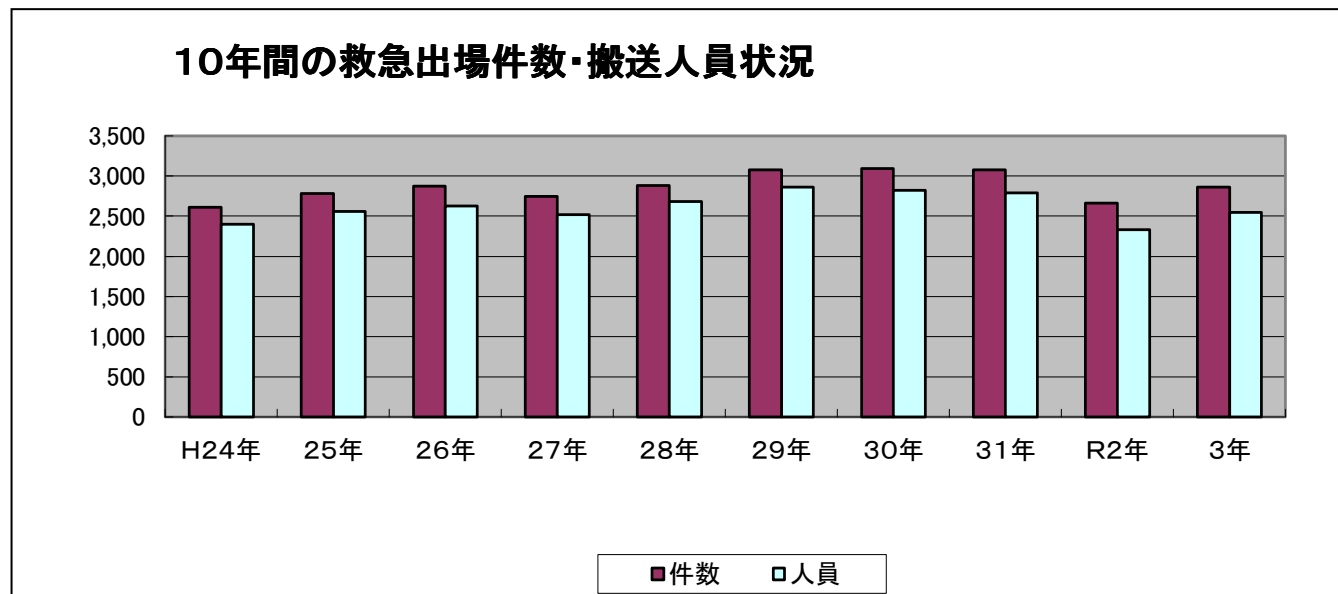
1 救急業務

蓮田市の令和3年中の救急出場件数は2,859件（前年比196件増）、搬送人員にあつては2,543人（前年比214人増）であり、救急自動車が一平均7.8件出場し、市民約24人に1人が搬送されたことになっております。令和2年に比べ出場件数が増加しているが、今後の展開として高齢化、疾病構造の変化、在宅患者の増加等、社会環境の変化に伴い潜在的な救急需要は増加傾向をたどると推測されます。救急業務は市民にとって必要不可欠な行政サービスとなっています。

市民の生命・身体を守る上で、救急業務をさらに充実強化していく為に、当市では高規格救急自動車、医療の進歩にともなう救急資器材の整備を継続的に行い、救急救命士・救急隊員の資質向上を目的とした職員研修を署内・外で実施しております。

救急救命士制度が開始されてから20年以上が経過した現在、救急救命士は気管挿管・薬剤投与に加え平成26年から心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖値測定及び低血糖発作事例へのブドウ糖溶液の投与が認められ現場での高度な処置が可能となりました。また、地域全体を通して応急手当の普及啓発に積極的に取り組み救命率の向上を目指しています。

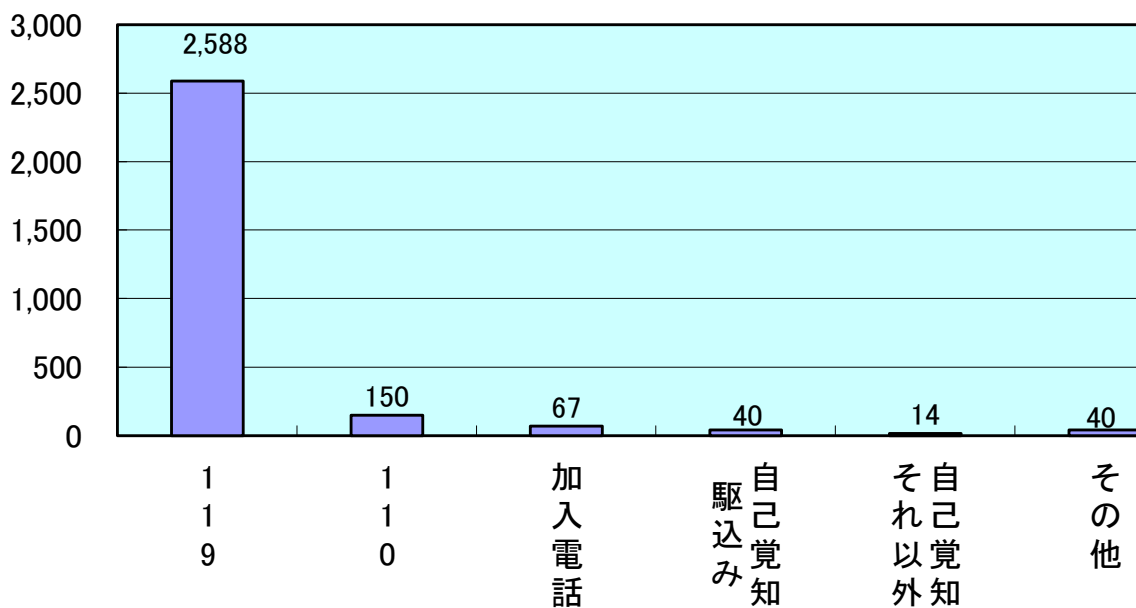
2 10年間の救急出場件数・搬送人員状況



	平成 24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	令和 2年	3年
件数	2,610	2,781	2,872	2,745	2,881	3,079	3,090	3,076	2,663	2,859
人員	2,399	2,557	2,626	2,519	2,681	2,858	2,821	2,788	2,329	2,543

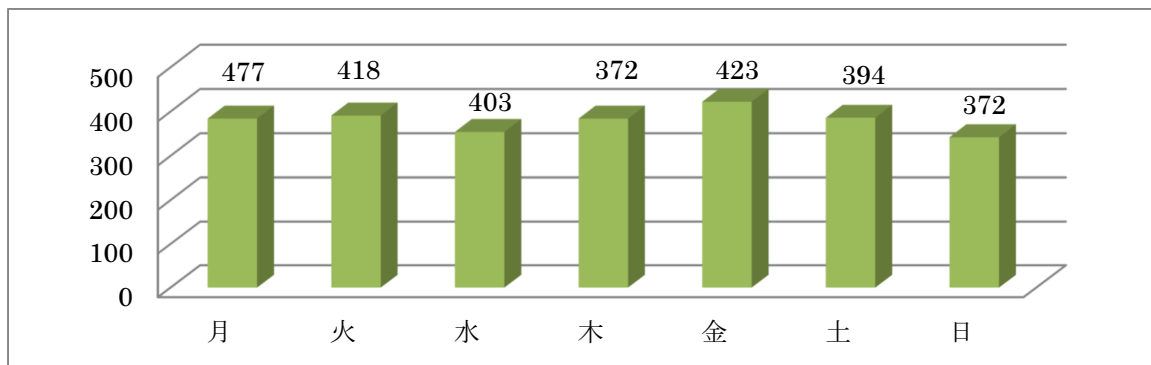
3 救急通報手段状況

令和3年中（単位：件）



4 曜日別出場状況

令和3年中（単位：件）

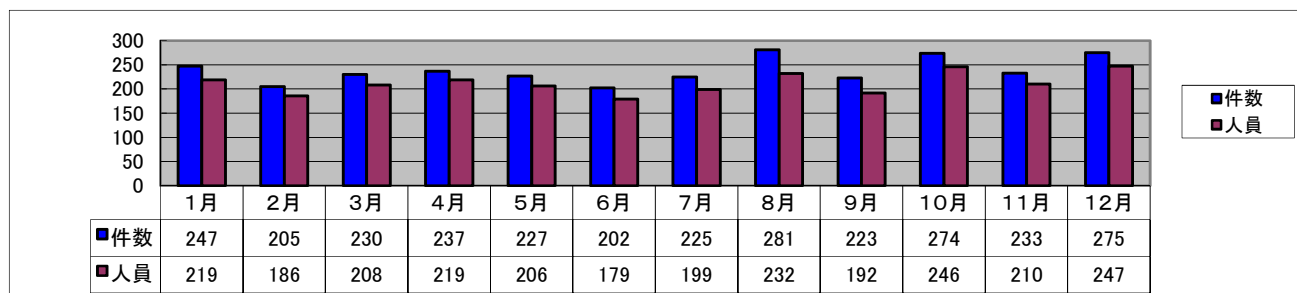


		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日別	月	0	0	0	30	3	1	76	1	6	284	76	477
	火	1	0	0	18	5	3	60	6	6	266	53	418
	水	1	0	1	34	1	2	46	1	4	253	60	403
	木	1	0	2	28	5	2	52	1	4	233	44	372
	金	0	0	0	27	2	2	69	2	5	257	59	423
	土	4	0	2	22	4	1	58	1	3	248	51	394
	日	1	0	0	23	3	1	62	0	2	264	16	372
	計	8	0	5	182	23	12	423	12	30	1,805	359	2,859

5 救急出動件数及び搬送件数

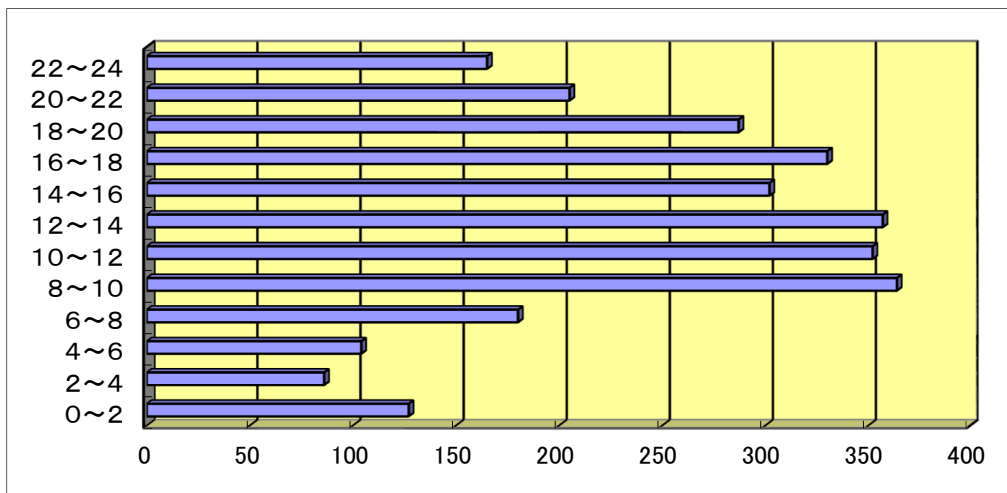
令和3年中（単位：上段 件/下段 人）

		救 急 事 故 種 別											
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	出動件数	1	0	0	18	4	1	30	1	2	157	33	247
	搬送件数	0	0	0	15	3	1	25	1	1	142	31	219
2月	出動件数	1	0	0	9	0	0	35	0	1	132	27	205
	搬送件数	0	0	0	11	0	0	33	0	0	117	25	186
3月	出動件数	1	0	0	16	0	0	37	1	2	139	34	230
	搬送件数	0	0	0	15	0	0	34	1	1	124	33	208
4月	出動件数	1	0	0	17	2	1	26	1	4	145	40	237
	搬送件数	0	0	0	15	2	1	25	1	3	132	40	219
5月	出動件数	1	0	0	16	3	2	38	0	6	129	32	227
	搬送件数	0	0	0	14	3	2	34	0	3	118	32	206
6月	出動件数	0	0	3	10	1	1	27	1	3	135	21	202
	搬送件数	0	0	0	9	1	1	24	1	2	120	21	179
7月	出動件数	1	0	0	18	1	1	40	2	1	135	26	225
	搬送件数	0	0	0	16	1	1	34	2	1	118	26	199
8月	出動件数	0	0	0	7	3	0	38	0	3	199	31	281
	搬送件数	0	0	0	6	3	0	34	0	3	155	31	232
9月	出動件数	0	0	0	14	3	0	33	0	2	148	23	223
	搬送件数	0	0	0	13	3	0	32	0	1	121	22	192
10月	出動件数	1	0	2	15	3	1	36	1	0	181	34	274
	搬送件数	1	0	1	11	3	1	33	1	0	163	32	246
11月	出動件数	1	0	0	22	2	4	36	5	6	130	27	233
	搬送件数	1	0	0	19	2	4	35	1	3	120	25	210
12月	出動件数	0	0	0	20	1	1	47	0	0	175	31	275
	搬送件数	0	0	0	21	1	1	42	0	0	152	30	247
合計	出動件数	8	0	5	182	23	12	423	12	30	1,805	359	2,859
	搬送件数	2	0	1	165	22	12	385	8	18	1,582	348	2,543



6 時間別出場件数

令和3年中（単位：件）



		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
合計		8	0	5	182	23	12	423	12	30	1,805	359	2,859
時間別内訳	0~2	0	0	0	4	1	0	13	1	5	101	2	127
	2~4	3	0	0	1	1	0	12	0	1	67	1	86
	4~6	0	0	0	3	0	0	8	1	1	88	3	104
	6~8	0	0	0	12	1	1	28	0	2	131	5	180
	8~10	0	0	4	30	4	2	54	2	5	218	45	364
	10~12	0	0	0	22	3	4	52	2	3	200	66	352
	12~14	1	0	0	23	5	1	52	2	2	191	80	357
	14~16	0	0	0	16	4	0	56	0	3	159	64	302
	16~18	2	0	1	25	2	3	60	1	2	184	50	330
	18~20	0	0	0	27	0	0	43	2	3	184	28	287
	20~22	0	0	0	11	2	1	29	1	1	153	7	205
	22~24	2	0	0	8	0	0	16	0	2	129	8	165

7 病院別搬送人員

令和3年中（単位：人）

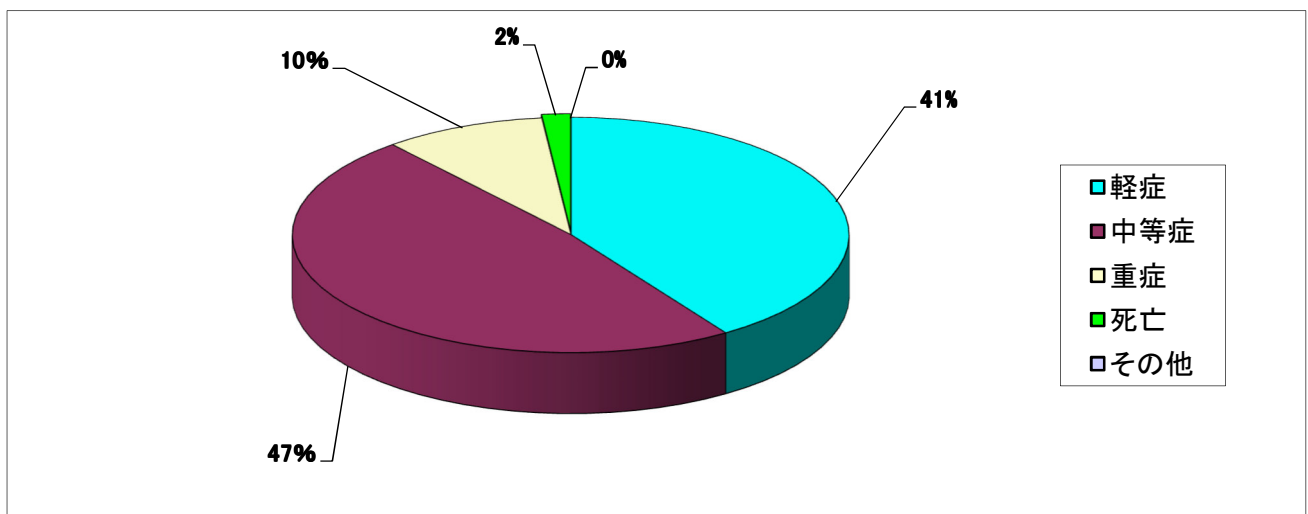
	市内への搬送	市外への搬送	合計
病院	947	1,522	2,469
診療所	13	61	74
その他の施設	0	0	0
合計	960	1,583	2,543

8 程度別搬送人員割合

蓮田市の救急体制は、現在4台の救急車で運用しています。傷病者が多数発生した場合や、4台の救急車が出動中の場合、近隣の市や町の消防署に救急車の出動を要請することがあります。また、蓮田市の救急車が近隣の市や町に応援出動することもあります。

令和3年中の救急搬送人員の約41%が入院の必要性がない軽症でした。

ケガや急病などで緊急に病院へ搬送しなければいけない方が使用できるように、緊急性がない場合には自家用車やタクシー等で病院へ行くよう、適切な救急車の利用のご理解とご協力をお願いいたします。



※ 軽症・・・入院不要 中等症・・・入院三週間未満 重症・・・入院三週間以上

9 事故種別傷病程度別搬送状況

令和3年中（単位：人）

程度別 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	3	0	0	55	0	58
重症	1	0	0	4	0	0	22	0	6	159	55	247
中等症	1	0	0	26	5	1	110	3	10	765	263	1,184
軽症	0	0	1	135	17	11	250	5	2	603	30	1,054
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	0	1	165	22	12	385	8	18	1,582	348	2,543

10 事故種別年齢区分別搬送人員

令和3年中（単位：人）

年齢別	事故種別											合計	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		その他
新生児		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42
乳幼児		0	0	0	2	0	0	40	0	0	39	3	84
少年		0	0	0	17	0	8	12	0	2	33	3	75
成人		1	0	0	105	21	4	38	5	11	416	74	675
高齢者		1	0	1	41	1	0	295	3	5	1,094	226	1,667
計		2	0	1	165	22	12	385	8	18	1,582	348	2,543

※年齢区分は次のとおり分類する

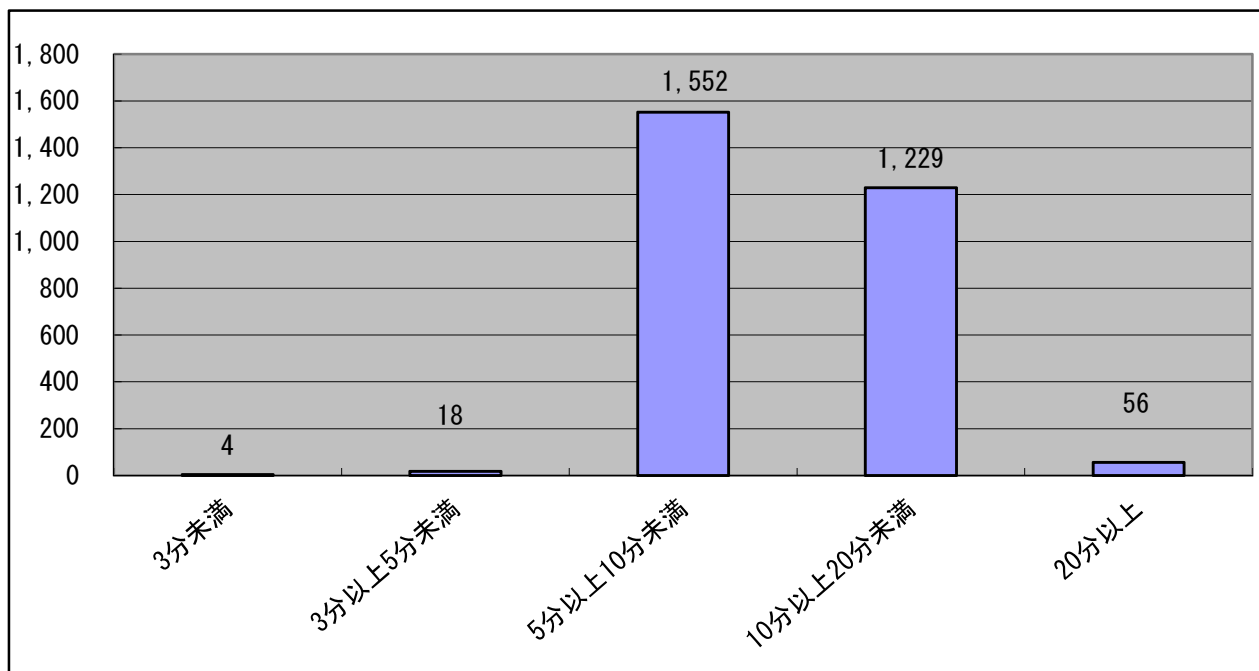
- ・ 新生児 生後28日未満の者
- ・ 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- ・ 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- ・ 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- ・ 高齢者 満65歳以上の者

11 急病にかかる疾病分類搬送人員

令和3年中（単位：人）

傷病程度	疾病分類	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
		脳疾患	心疾患									
死亡		0	14	0	1	0	0	0	2	0	38	55
重症		24	18	4	46	4	2	4	8	15	34	159
中等症		79	45	72	85	7	18	31	17	109	302	765
軽症		15	27	17	12	46	25	32	3	99	327	603
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		118	104	93	144	57	45	67	30	223	701	1,582

1.2 現場到着所要時間別出場件数



※現場到着所要時間平均時間 … 令和3年平均9.9分 令和2年平均9.5分

1.3 不搬送件数

令和3年中（単位：件）

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
辞退（到着前）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
辞退（到着後）	1	0	0	15	1	0	20	3	3	114	1	158
拒否	0	0	0	7	0	0	16	1	2	22	0	48
明らかな死亡	0	0	1	0	0	0	0	0	3	41	0	45
他車（隊）搬送	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	5
傷病者なし	4	0	0	4	0	0	1	0	3	10	2	24
誤報・いたずら	1	0	0	0	0	0	0	0	1	14	5	21
その他	0	0	1	0	0	0	1	0	0	19	2	23
計	6	0	4	28	1	0	38	4	12	223	11	327

※本年報より、不搬送理由が一部変更されました。変更前は、緊急性なし・酩酊・現場処置がありましたが、変更後は辞退（到着前）・辞退（到着後）・他車（隊）搬送に変更になりました。また、『死亡』が『明らかな死亡』へ変更になっています。

1.4 救急支援活動状況

令和3年中（単位：件）

救急車と消防車や救助工作車が同時に出動している光景を見た方もいると思いますが、これは火災ではなく救急支援活動といって次のような場合に出動します。

①心肺機能停止あるいはその疑いがあると思われる救急要請があった場合 ②建物の2階以上で発生した傷病者または、駅やサービスエリアで発生した傷病者で通報状況から救急車収容まで時間を要すると予測される場合 ③二次災害防止として幹線道路の交通事故や加害事故等により現場が不穏な状況にあると予測される場合等で出場しています。

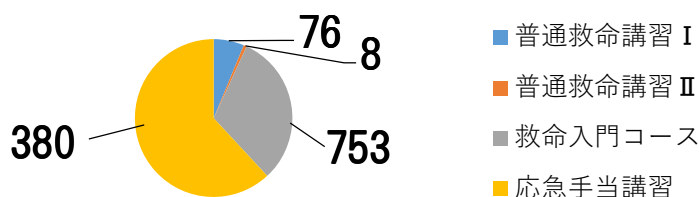
救急支援により、高度化する救急処置の中で、救急隊の安全な活動が可能となり、またマンパワーの増員により現場の滞在時間が短縮されるなど、必要性は今後ますます高まっていくと思われます。

事故種別	急病	交通	一般	運動	加害	自損	労災	その他	合計
出場件数	410	76	36	0	6	13	2	4	547

1.5 応急手当普及啓発活動

令和3年中（単位：人）

普通救命講習会・応急手当講習会受講者数



- * 普通救命講習Ⅱは、業務の内容や活動領域の性格から一定の頻度で心肺停止傷病者に対して応急の対応が期待・想定される方を対象とした講習会です。
- * 普通救命講習Ⅲは、心肺蘇生法（主に小児、乳児、新生児）対象の講習会です。
- * 上級救命講習は普通救命講習の内容に加えて外傷手当、搬送法などを加えた講習会です。
- * 普及員講習は応急手当普及員による講習会です。

1.6 地区別出動件数

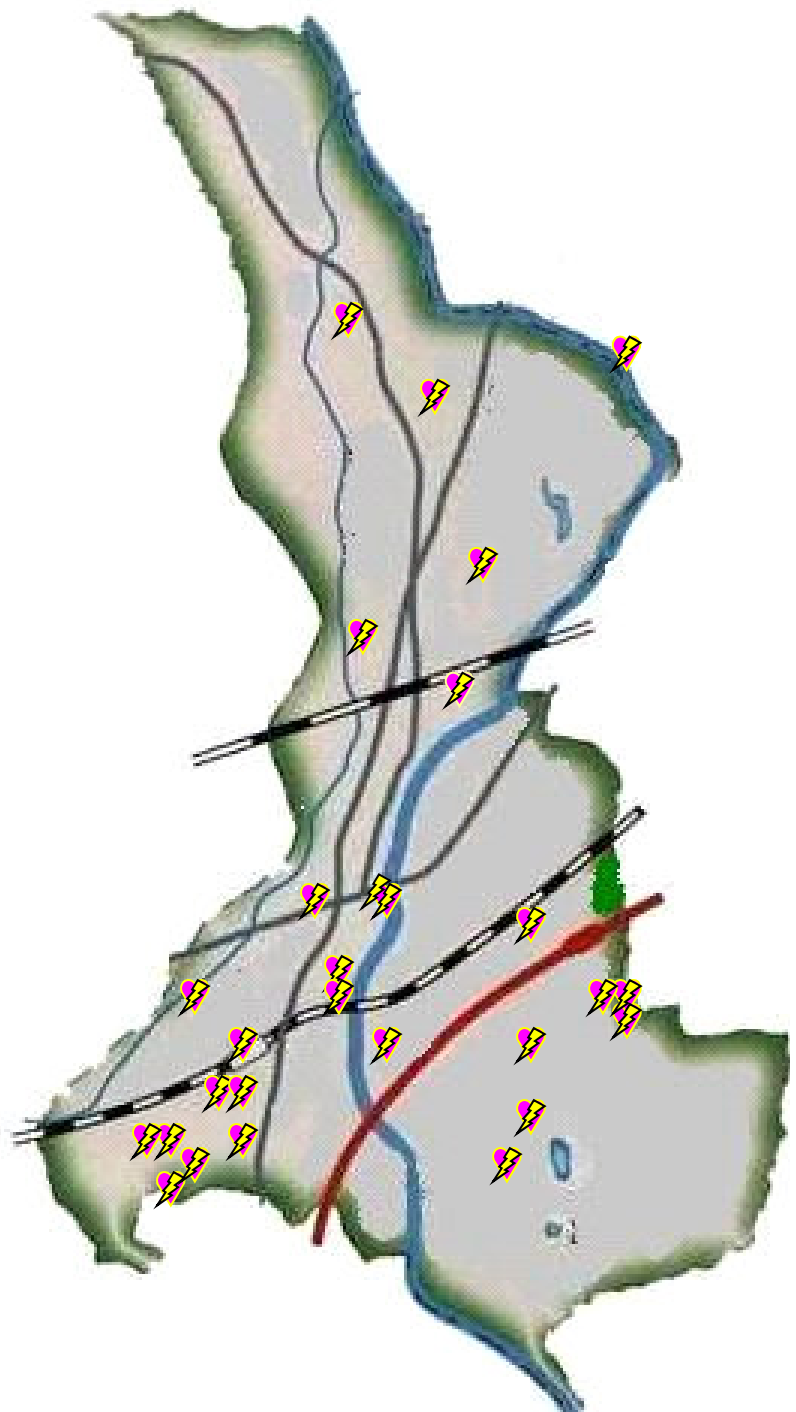
令和3年中（単位：件）

地名	件数	地名	件数	地名	件数	地名	件数
綾瀬	31	川島	39	高虫	32	馬込	247
井沼	42	黒浜	327	椿山	137	緑町	68
閨戸	260	駒崎	29	西新宿	93	南新宿	46
江ヶ崎	66	笹山	6	西城	69	見沼町	51
御前橋	52	桜台	49	根金	183	山ノ内	36
貝塚	26	城	18	蓮田	186	藤ノ木	75
上	55	末広	53	東	245	〔市外〕	21
上平野	54	関山	137	本町	126		

※〔市外〕とは、相互応援協定に基づき、伊奈町、白岡市、さいたま市に出動したもの。

1 7 公共施設のAED設置場所

- 1 蓮田市役所
- 2 蓮田市消防本部
- 3 蓮田市消防署南分署
- 4 図書館
- 5 総合市民体育館（パルシー）
- 6 中央公民館
- 7 中央公民館関山分館
- 8 コミュニティセンター
- 9 蓮田市保健センター
- 10 農業者トレーニングセンター
- 11 老人福祉センター
- 12 勤労青少年ホーム
- 13 駅西口連絡所
- 14 環境学習館
- 15 児童センター
- 16 蓮田・白岡環境センター
- 17 中央保育園
- 18 関戸保育園
- 19 黒浜保育園
- 20 蓮田南保育園
- 21 東保育園
- 22 蓮田ねがやど保育園
- 23 みぬま保育園
- 24 かもめ作業所
- 25 蓮田はなみずき作業所
- 26 埼玉県立蓮田松韻高等学校
- 27 埼玉県立蓮田特別支援学校
- 28 黒浜運動公園
- 29 総合文化会館（ハストピア）



※ この他に、市内各小中学校（13校）・学童保育所（5箇所）に設置されています。

救助活動状況

(1) 事故種別出動件数

令和3年中 (単位: 件)

事故種別 月別	建物火災	建物以外の火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
1月	1		2				2			1	6
2月				1						3	4
3月			1				1			2	4
4月			2							1	3
5月										2	2
6月				1			2			3	6
7月							1			1	2
8月			1				4			2	7
9月							2			1	3
10月	1			1			4			3	9
11月			3				2				5
12月			1				3			1	5
合計	2		10	3			21			20	56

(2) 事故発生場所別活動件数及び救助人員

令和3年中 (単位: 上段 件/下段 人)

事故種別 発生場所		建物火災	建物以外の火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故	ガス及び	破裂事故	その他の事故	計	
屋内	住居	活動件数	2						7					9	
		救助人員	2						6					8	
	その他の屋内	活動件数							1					1	
		救助人員							1					1	
屋外	道路	活動件数			7								1	8	
		救助人員			11								1	12	
	河川等	活動件数				3								3	
		救助人員				3								3	
	その他の屋外	活動件数			2									3	5
		救助人員			2									3	5
その他		活動件数													
		救助人員													
合計		活動件数	2		9	3			8				4	26	
		救助人員	2		13	3			7				4	29	

(3) 事故種別出動人員

令和3年中 (単位:人)

区 分		事故種別										計
		建物火災	建物以外の火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	
出動人員	専任救助隊員	5		25	9			50			53	142
	消防隊員	63		32	31			21			40	187
	救急隊員	6		39	15			57			57	174
	合計	74		96	55			128			150	503
救助活動人員	専任救助隊員	5		22	4			19			13	63
	消防隊員	50		30	20			8			15	123
	救急隊員			30	15			18			12	75
	合計	55		82	39			45			40	261

(4) 救助出動件数の推移

(単位:件)

事故種別	年 別				
	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
火 災	6	4	1	3	2
交 通 事 故	44	12	11	13	10
水 難 事 故		3	1	3	3
その他の事故	12	5	8	13	20
上記以外の事故	20	16	25	23	21
総出動件数	82	40	46	55	56

消防団関係

蓮田市消防団は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に満ちた在住・在勤の有志により組織された市の消防機関です。

令和4年4月1日現在、1本部6ヶ分団が設置され、女性消防団員5名を含む140名の消防団員が活躍しています。

消防団員は、通常は各自の職業に従事しながら、いざ災害が発生した時には、いち早く現場に駆け付け災害防衛活動を実施し、被害の軽減に努めています。

消火活動はもちろんのこと、特に地震や風水害等の大規模災害時等には、多数の消防団員が出動して、被害の拡大防止に活躍しています。

また、消防団員は市民の生命・財産を火災から保護するだけでなく、災害時以外の活動においても、火災予防の啓発、防火指導、応急手当の普及指導、地域行事の際の警戒など、地域に密着した活動を幅広く行っています。

消防団の主な行事

(令和3年度)

4月	辞令交付式 団幹部歓送迎会（中止）	第1回分団長会議
5月	運営費支給 利根水系訓練（中止）	第1回団本部役員会議 消防団員基礎教育研修
6月	消防団幹部県外研修（中止）	第2回分団長会議
7月		
8月	消防団オリパラ会議（中止）	オリパラ聖火リレー（中止）
9月	蓮田市総合防災訓練（中止） 住宅用火災警報器指導員研修（WEB）	消防団新入団員基礎教育研修（中止）
10月	消防特別点検合同訓練（中止） 女性団員研修（WEB）	第3回分団長会議 第2回団本部役員会議
11月	消防特別点検（規模縮小し実施） 消防団員基礎教育 消防団員幹部教育『初級幹部科』研修	秋季全国一斉火災予防運動 女性消防団員研修会（中止） 消防団員幹部教育『救助資機材取扱』研修
12月	消防団員幹部教育『分団指揮課程』研修 歳末特別警戒広報活動	消防団員幹部教育『現場指揮課程』研修 家族慰安会
1月	消防出初式（規模縮小し実施）	
2月	第4回レクレーション大会（中止）	
3月	消防団員健康診断 第4回分団長会議	春季全国一斉火災予防動 消防団員基礎教育（中止）

※（中止）は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止となりました。

消防団員実員数

条例定数	157人
------	------

令和4年4月1日現在

分団名	実員数
団本部	8(5)
第1分団	23
第2分団	25
第3分団	21
第4分団	23
第5分団	22
第6分団	18
合計	140

※ () 内は女性消防団員

分団詰所所在地

令和4年4月1日現在

分団名	所在地	建築延べ面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
第1分団	東5丁目7-2	102.06	393.38
第2分団	上2丁目13-2	102.06	340.01
第3分団	閨戸3978-8	102.06	395.67
第4分団	井沼1063-8	102.06	375.76
第5分団	黒浜3933-6	102.06	396.13
第6分団	黒浜1132-2	102.06	248.93

在職年数別団員数

令和4年4月1日現在

在職年数 分団別	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団本部	8(5)	3(3)	2(2)			1	1	1
第1分団	23	1	10	2	3	2	2	3
第2分団	25	2	4	4	2	7	4	2
第3分団	21	3	4	7	4	3		
第4分団	23	4	1	2	6	4	4	2
第5分団	22	3	2	3	2	5	3	4
第6分団	18	1	1	2	3	2	5	4
合計	140	17(3)	24(2)	20	20	24	19	16

※ () 内は女性消防団員

消防自動車配置状況 (消防団)

令和4年4月1日現在

分団名	車名・型式	ポンプ 会社名	ポンプ 級別 型 式	購入年月日
第1分団	いすゞ PB-NKR81N	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H17.3
第2分団	日野 TKG-XZU640M	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H25.12
第3分団	日野 BDG-XZU334M	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H20.3
第4分団	日野 TKG-XZU640M	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H27.1
第5分団	日野 TKG-XZU640M	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H28.11
第6分団	いすゞ PB-NKR81N	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H19.3

蓮田市消防団 団員募集

『自分たちのまちは、自分たちで守る』

消防団は、地域の防災に欠かせない存在です。
市内在住・在勤の18歳以上の男女を募集中。



お問い合わせは、消防課庶務係 (TEL768-1020)

蓮田市防火安全協会

令和3年度 児童防火ポスターコンクール



会長賞

黒浜西小学校 6年

三平さん作品



消防長賞

黒浜小学校 4年

地子給さん作品



消防団長賞

黒浜小学校 5年

林さん作品

※学年は令和3年度受賞時のもの

蓮田市消防本部

令和4年刊行

編集・発行 蓮田市消防本部 庶務係

〒349-0133

蓮田市大字閻戸 178-1

TEL 048-768-0119 (代表)

FAX 048-768-9937

住宅用火災警報器を 点検しましょう